

横須賀市
博物館報



- 目 次 -

はじめに

博物館事業報告

1 特別展示・企画展示	3
2 研究発表会	17
3 調査等出張概要	20

博物館事業概要 平成30年度(2018年4月～2019年3月)

4 展示教育普及事業	
(1) 主催事業①(展示)	23
(2) 主催事業②(学習会)	28
(3) 主催事業③(イベント等その他)	34
(4) 主催事業④(出版・制作)	36
(5) 共催・協力事業	38
(6) 学校教育指導・対応	39
(7) 学校教育以外の指導・対応	40
(8) 報道発表・取材等協力	43
5 収集調査研究事業	
(1) 調査・研究	47
(2) 研究発表・執筆	49
(3) 学術研究団体等協力	51
6 分類整理保存事業	
(1) 資料の寄贈・借用	53
(2) 登録資料	54
(3) 資料の利用	54
(4) 資料の保守・保存環境保全	58
7 管理事業	
(1) 施設利用	60
(2) 入館者統計	62
(3) 人 事	62
(4) 予 算	62
(5) 営繕工事	62
(6) 消防訓練・避難訓練	62
(7) ホームページ・メールマガジン	63
(8) 研修会等の参加	63

職員名簿(平成30年度)・表紙写真解説	裏表紙裏
---------------------	------

はじめに

平成30年（2018年）度は、特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」や2つの企画展を開催しました。なかでも横須賀製鉄所フランス人技師メラング家で見つかった資料は、横須賀製鉄所を知る上で重要な資料であることから、速報的に企画展を開催しました。前年度から始まった研究発表会「みんなの理科フェスティバル」や、地域と連携した共催・協力事業などの新しい試みも定着してきました。

前号から印刷媒体を廃しましたが、今号からは各種印刷物や制作物の画像も記録として残すようにしました。現在、誌面の見直しに取り組んでいるところであり、今号を含め今後の数号で博物館の活動がより分かりやすく把握できるように努めてまいります。本誌を通じて当博物館の活動に益々のご理解を頂けましたら幸いです。

館長

《ポスター》



特別展示「探検！ スズメバチと身近な昆虫の世界」



企画展示①「横須賀のはじまり -よみがえる古代人のくらし-」



企画展示②「初公開！ 仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」



「国際博物館の日」記念行事



みんなの理科フェスティバル



夏休み企画

博物館事業報告

1 特別展示・企画展示

(1) 特別展示

「探検! スズメバチと身近な昆虫の世界」

博物館の昆虫分野の研究テーマの中から「横須賀市におけるスズメバチトラップ調査」と「三浦半島基幹昆虫種」の2つを取り上げ、前者についてはスズメバチの生態や生活史も含めた体験的な展示として、後者については三浦半島の身近な昆虫の多数の標本や生態写真による体系的・網羅的展示として、それぞれの研究成果を分かりやすく反映させた。夏休み期間に係ることから、展示コンセプトには「冒険心をかき立てる展示」を掲げたほか、スズメバチに対する「危険・怖い」イメージが先行しないように心がけた。

担当：内船

開催場所

本館特別展示室

開催期間・見学者数

4-(1)-アを参照

関連事業

展示解説(4-(2)-ウ)、ワークショップ(4-(2)-エ)、
展示解説書『身近な昆虫365』(4-(4)-カ)

展示内容

以下、展示区画毎に解説パネル内容と展示資料内訳を掲載

展示区画①：エントランス

身近な昆虫の世界をイメージした入口ゲートをくぐると、目を惹く映像モニターを組み込んだトピック展示が現れ、トピック展示上部には標本を近くで見られるよう工夫した。

・入口ゲート

木工造作

・トピック展示

木工造作、デジタルフォトフレーム2台、透明半球カバー3個、標本資料16点(マダラバッタ、スズメバチ類6種、シロスジカミキリ、ケシカミキリ)

・パネル

「はじめに」(以下全文)

昆虫は私たちにとってもっとも身近な生きものの一つです。身近な自然を散策すれば、たとえその目的が昆虫でなかったとしても、必ずや昆虫との出会いが待っていることでしょう。

昆虫の多様な形や色がおりなす美しさや複雑さは、しばしば私たちに感動や驚きをあたえてくれます。オスとメスが寄りそって飛ぶすがたや、働きバチの集団が懸命に巣を守るすがたには、私たち自身のすがたをかさね合わせずにはられません。その一方で、昆虫



1-(1) 入口ゲート



1-(1) トピック展示

には「怖い」とか「きもち悪い」などといったイメージをもたれがちなのも事実です。子どものころはむじゃきに昆虫とふれ合うことができたのに、イタイ目にあったり、ビックリさせられたり、まわりの人の評価にあわせてしまったりなどしたせいでしょうか、いつでも近くにいるはずの昆虫たちの存在を、ずいぶんと遠ざけてしまいがちです。

今回の展示には昆虫について2つのテーマをとり上げました。一つは、「怖い」とか「危険な」というイメージから、あまりよく観察されることが少ないスズメバチです。オオスズメバチの頭をデザインした大きな模型を観察したり、スズメバチの幼虫の気持ちを経験したりすることで、スズメバチに対して興味をもち、正しい理解につながることを願っています。もう一つは身近な昆虫の多様性です。チョウやクワガタなど好きなグループだけに熱中したままになっていたり、分類の複雑さや「きもち悪い」で興味が止まったままになっていたりしている方々に対して、身近な三浦半島に生息しているさまざまな昆虫をご紹介します。もういちど身のまわりの昆虫を、もっと広い視野で観察するきっかけになることを願っています。

当博物館は1954年の開館以来、三浦半島地域における昆虫を含むさまざまな自然や人のいとなみを収集し、展示してまいりました。はからずも開館64年目——64(ムシ)とも読める年——に昆虫に関するテーマをとり上げることになりました。このご縁を機に、昆虫をはじめとする三浦半島の身近な自然について探求を深めていただくとともに、当博物館の活動によりいっそうのご理解をいただけましたら幸いです。

2018年7月
横須賀市自然・人文博物館

展示区画②：さわれる展示

スズメバチの巣や内部を間近で見られたり、巣の一部やスズメバチの体の一部を触って体験したりできるようにした。

・キイロスズメバチの巣としくみ

パーテーション2枚(化粧板にて装飾)、標本資料2点(キイロスズメバチの巣)、写真資料4点(キイロスズメバチの女王、同種の巣の外皮・巣盤・育房)

・さわれる展示

長机1台、格子状アクリルケース1点、さわれる資料9種(オオスズメバチの繭・幼虫の糞・翅・頭・脚・毒針、キイロスズメバチの働きバチ・巣の外皮・巣盤の一部、消耗次第補充)

展示区画③：三浦半島の身近な昆虫たち

ウォールケースおよび覗きケース1台に、三浦半島産の昆虫類を写真やパネルとともに展示した。

・標本等資料

三浦半島産の昆虫標本約900点(約800種、大型標本箱30点に収納)、昆虫類生態写真約30点、ハチ類の巣10点(キムネクマバチ、オオスズメバチ、キイロスズメバチ、コガタスズメバチ、ムモンホソアシナガバチ)

・パネル

「三浦半島の身近な昆虫たち」(以下全文)

横須賀市をはじめ私たちがくらす三浦半島の昆虫たちを標本で展示します。これらの標本は、この展示のために新たに採集されたものではなく、博物館のコレクションとして保管しているもので、19日800種を展示しました。

当博物館は、64年前の開館当初からフィールドを



1-(1) キイロスズメバチの巣としくみ



1-(1) さわれる展示

三浦半島ときめ、三浦半島の自然と人のいとなみについて、昆虫を含むさまざまな資料をあつめてきました。昆虫だけでも今や4万点以上もある標本ですが、収集と整理をおこないながら、いくつかのまとまりを目録（『博物館資料集』として発行しています）にまとめ、みなさまが利用できるようにしています。

この展示では、グループごとに分けた標本とともに、昆虫のグループについて、当博物館のコレクションやその目録について、いくつかのパネルで紹介します。「トンボのなかま（トンボ目）」（以下全文）

トンボのなかまは、ヤゴとよばれる幼虫が水のなかまです。

「バッタのなかま（バッタ目）」（以下全文）

バッタのなかまには、キリギリスやコオロギもふくまれています。ここでは、バッタ目にちかいなかまのカマキリ目やナナフシ目も展示しました。

「カメムシのなかま（カメムシ目）」（以下全文）

カメムシのなかまには、セミやアメンボも含まれています。ストローのような口をもっています。

「チョウやガのなかま（チョウ目）」（以下全文）

チョウとガはおなじ目（もく）で、翅（はね）に粉のような鱗粉（りんぷん）をもち、口がストローのようになるのがとくちょうです。

「三浦半島産チョウ類基本標本」（以下全文）

三浦半島昆虫研究会は30年以上にわたって当博物館のチョウ類収蔵標本を整理しています。2012年には同会の有志（蝶展実行委員会）と担当学芸員によって、当博物館で企画展示「三浦半島のチョウ」を開催し、三浦半島のチョウ類の記録や現況を、2013年の当博物館の研究報告（自然）60号にまとめました。

上記の活動のなかで、「三浦半島で記録されたチョウ

ウ類全ての種および変異を網羅したコレクションをつくる」という構想がもち上がり、前述の企画展示終了後、展示に用いた博物館収蔵標本をベースに足りない種や変異（季節型やオス・メスなど）の標本について、同会会員より寄贈を受けるなどして補いました。

「博物館研究報告（自然科学）60号」（以下全文）

「三浦半島で記録された蝶とその動態（内船ほか、2013）」は、当博物館の研究報告（自然科学）60号に掲載（1～14頁）されています。三浦半島で2012年末までに記録されたチョウ類84種について、約30年間の変化を記しました。

「コウチュウのなかま（コウチュウ目）」（以下全文）

コウチュウのなかまは、前ばねがかたくなって腹（はら）をおおっています。

「鎌倉市十二所産コウチュウ類コレクション」（以下全文）

国内外のカミキリモドキ類（コウチュウ目カミキリモドキ科）の分類研究で活躍中の秋山秀雄氏（1958～）が、2010年から2014年にかけて鎌倉市十二所で収集したコウチュウ類約1,800点のコレクションです。2016年に当博物館へ寄贈されました。

鎌倉市十二所は横浜市金沢区や逗子市池子と隣接し、北に円海山、南に二子山が連なる緑豊かな丘陵地で、水辺こそありませんが山林から里地の生物相が観察できる場所です。こうした場所にいるさまざまなコウチュウ類を約480種も集めて分類し、きれいな標本にしたものです。当博物館では2017年、このコレクションの内訳を目録としてまとめ、全種の標本写真とともに博物館資料集41号として発行しました。

身近な自然をじっくりと観察することで、私たちの身のまわりにもこんな多様な昆虫がいるのだと気づかせてくれるコレクションです。



1-(1) 三浦半島の身近な昆虫たち



1-(1) ハチのなかま

「博物館資料集 41 号」(以下全文)

「鎌倉市十二所産コウチュウ類コレクション目録」は、当博物館の資料集 41 号に掲載されています。巻末にはコレクションを収集し寄贈した秋山秀雄氏が制作した美しく細やかな標本を、6 図版にわたり 480 点もの写真で紹介しています。

「ハエのなかま (ハエ目)」(以下全文)

ハエのなかまは、アブやガガンボなど翅(はね)が 2 枚しかありません。ここでは、ハエ目にちかいなかまのシリアゲムシ目も展示しました。

「そのほかの昆虫のなかま」(以下全文)

ほかにも身近な昆虫のなかまを展示しました。イシノミ目、カゲロウ目、カワゲラ目、ゴキブリ目、シロアリ目、ハサミムシ目、アミメカゲロウ目、ヘビトンボ目、ラクダムシ目を展示しました。

「ハチのなかま (ハチ目)」(以下全文)

ハチのなかまは、前後の翅(はね)が連結して 2 枚の翅のようにしてとびます。

展示区画④：「三浦半島主要基幹昆虫種 100」の展示

「三浦半島基幹昆虫種」の研究成果の一つである「主要基幹昆虫種 100」を覗きケース 2 台に展示するとともに、生態写真によって制作した大型ポスターも展示した。

・標本等資料

昆虫標本 100 点(100 種、大型標本箱 5 点に収納)、大型ポスター 2 点(「三浦半島主要基幹昆虫種 100」)

・パネル

「目や科：昆虫を大きなグループでとらえる」(以下全文)

多種多様な昆虫は、三浦半島だけでも約 4,000 種もいます。それだけ多いと覚えるのはむずかしいです

よね。

生きものどうしのちがいをみつけてグループに分けたり、近いなかまどうしをグループにまとめたりすることを分類といいます。昆虫学者たちは、地球上の昆虫から 100 万種以上のちがいを種(しゅ)として発見していますが、それをわずか 30 ほどのグループ(目[もく])に分けて整理もしています。昆虫を種よりも大きなグループでとらえると、地域にくらす昆虫全体をイメージしやすくなったり、図鑑でしらべやすくなったりします。

◎ 昆虫(昆虫綱)の大きささまざまなグループ分け 綱 > 目 > 科 > 属 > 種

昆虫のグループ分けでよく使うのが目と科です。一つの目に 50 以上もの科が含まれることもあります。科がわかってくると、いろいろな昆虫について勉強するときに役立つことでしょう。

展示区画⑤：オオスズメバチの幼虫体験

パーティーションで囲われた空間をオオスズメバチの幼虫の部屋(育房)に見立て、オオスズメバチ女王の大型模型を再生したり巣の中に響く音を再生したりして、スズメバチ類が暮らす世界の一部を体験できるようにした。

・オオスズメバチの育房

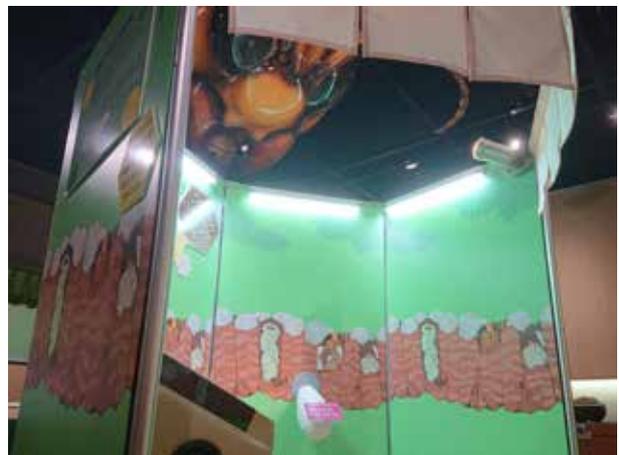
大型模型(オオスズメバチ女王の頭部)、パーティーション 7 枚(4 枚は育房、3 枚は周辺)、化粧板 9 枚、床面装飾シート 1 枚、センサー反応式機材(音声再生と照明点灯)

・標本等資料

標本資料 6 点(ヒメスズメバチの幼虫・蛹)、写真資料約 30 点(スズメバチ類生態・卵・幼虫・蛹、大



1-(1) 三浦半島主要基幹昆虫種 100



1-(1) オオスズメバチの幼虫体験

型模型制作風景)

・パネル

「体感!オオスズメバチの育房」(以下全文)

ハチの巣のなかには、たくさんの六角形のへやがあります。この部屋を育房(いくぼう)といい、ハチが卵~幼虫~さなぎのじかんをすごします。巣のなかの育房はお皿のようにあつまっていて、これを巣盤(すばん)といいます。スズメバチの巣では、ぜんたいが外皮(がいひ)でおおわれていて、巣が大きくなると巣盤が何段にもかさなります。

ここでは「もしスズメバチの幼虫だったら...」をたいていけるよう、六角形の部屋をつくりました。部屋のうえにはオオスズメバチの女王が顔をのぞかせていて、かべには産んだばかりの卵がくっついています。

ほんとうの育房は、上下が逆さです。みなさんには上下ぎゃくのせかいをそうぞうしながら、この部屋を探検してください。

※部屋のなかの音は、オオスズメバチの幼虫がおなかをすかせて育房のかべをひっかく音です。暗い巣のなかで、働きバチは音をたよりに幼虫をさがし、だんご状にしたえものをあたえます。

「オオスズメバチの大型模型」(以下全文)

天井からつり下げられたオオスズメバチの大きな頭——育房をのぞきこむように設置した大型模型です。

わたしたちに比べればとても小さい昆虫たちですが、その体はとても細やかにできています。虫めがねや顕微鏡で見ないと分からない体のつくりを、大きな模型で見られるようにしました。

オオスズメバチの頭の大型模型をつくりたい——制作をお願いした会社には模型の参考としてオオスズメ

バチの標本や解剖画像をお送りしました。制作にあたっては、大あごの開きぐあい、あごひげの太さ、各部の色などを会社と一緒にチェックしながらすすめました。

このパネルの前に立って見上げると、模型の裏がわに小あごひげや下くちびるが作りこまれているのが分かります。育房の中へ回り込んで、模型を正面から見あげてください。わずかに開いた大あごから、小あごひげや下くちびるなどが見えます。

「スズメバチの『社会』とオス・メス」(以下全文)

スズメバチの働きバチ(ワーカー)はメスです。一方のオスは巣や幼虫の世話をすることなく、翌年の女王バチ(新女王)と交尾してまもなく死んでいきます。

働きバチは産卵しません。母親である女王バチを手伝って、巣を大きくしたりじぶんの妹や弟にあたる幼虫へ餌をあたえます。

メスが産卵によって直接じぶんの子孫をのこす昆虫が多く知られているなか、じぶんの母親の子育てを手伝う働きバチの習性は、「血縁選択」という考えかたによって説明されています。これは親子間やきょうだい(≒姉妹)間が遺伝的にどれだけ「同じ」かに着目したものです。

スズメバチでは、多くの動物では父母から1組ずつ受けついで2組の遺伝子を、2組もつとメスに、1組だけもつとオスになります(半倍数性)。そのため、きょうだい(姉妹)間でじぶんと「同じ」組合せの遺伝子をもつ確率は平均75%になることから、じぶんの子(親子間では確率50%)よりもきょうだいを増やすほうにメリットがある計算になります。



1-(1) 横須賀市のスズメバチトラップ調査



1-(1) 三浦半島のスズメバチ7種とめり絵

展示区画⑥：もっと調べるスズメバチ

展示室を見て回った最後のコーナーとして、横須賀市におけるスズメバチの調査をより詳しく知っていただくための展示と、同調査が明らかにした三浦半島産スズメバチ類7種の標本展示とぬり絵コーナーを設置した。ぬり絵シート利用者は、展示期間を通じて1,280人。

・横須賀市におけるスズメバチトラップ調査

覗きケース1台、研究成果ポスター1枚、標本資料約300点（スズメバチ類ほかトラップで捕獲した昆虫類、大型標本箱5点に収納）

・三浦半島で確認されているスズメバチ類とぬり絵

長机1台、パーテーション1枚、化粧板2枚、標本資料7点（オオスズメバチ・ヒメスズメバチ・モンズメバチ・チャイロスズメバチ・キイロスズメバチ・コガタスズメバチ・クロスズメバチ。アクリルケース1点に収納）

・パネル

「三浦半島で確認されているスズメバチ7種」(以下全文)

私たちがくらす三浦半島では、これまでスズメバチのなかまは6種が知られていましたが、近年、当博物館と横須賀市保健所の研究によって、もう1種いることがわかりました。

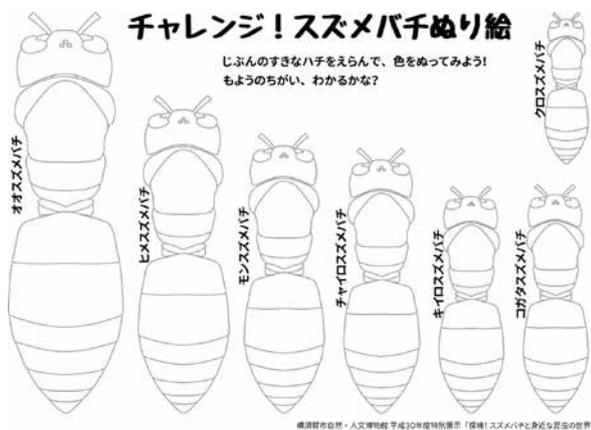
「チャレンジ!スズメバチぬり絵」(以下全文)

スズメバチのなかまは、種によって体のもようにとくちょうがあります。

三浦半島にくらすスズメバチ7種について、ぬり絵をよういしました。標本や写真をみながら、それぞれの種のとくちょうをぬり分けてみましょう。

◎ぬり分けのヒント（頭 [あたま]、胸 [むね]、腹 [はら] にわけて説明します）

- ・オオスズメバチ：頭はだいたい色、胸は黒色で少しだいたい色、腹は黒色とだいたい色が交互にでて、さいごの1節が黄色。
- ・ヒメスズメバチ：頭はだいたい色、胸は黒色で少しだいたい色、腹は黒色とだいたい色が交互にでて、前のほうでは茶色も混じり、さいごの3節は黒色。
- ・モンズメバチ：頭はだいたい色、胸は黒色で少し茶色、腹は黒色とだいたい色が交互にでるが、前のほうは黒色がち、うしろの方は黄色がちで左右に黒色の紋（もん）。
- ・チャイロスズメバチ：頭はこげ茶色、胸は茶色と黒色、腹は黒色。
- ・キイロスズメバチ：頭は黄色っぽいだいたい色、胸は黒色とだいたい色、腹は黒色とだいたい色が交互にでて、さいごの2節が黄色っぽいだいたい色。
- ・コガタスズメバチ：頭はだいたい色、胸は黒色、腹は黒色とだいたい色が交互にでて、さいごの1節が黄色。
- ・クロスズメバチ：頭は黒色、胸は黒色に少し白、腹は黒色に少し白。



1-(1) スズメバチぬり絵



1-(1) 特別展示用階段装飾（人文館2階）

(2) 企画展示

ア 企画展示①

「横須賀のはじまりーよみがえる古代人のくらしー」

三万年以上前とされる三浦半島最古の石器をはじめ、夏島式土器や東海地方からもたらされた青銅器、古墳に副葬された武器や装身具、古代の仏具や瓦など横須賀市内の遺跡から出土した遺物をとおして、旧石器時代から古代にかけての横須賀の歴史について紹介した。

担当：稲村

開催場所

本館特別展示室

開催期間・見学者数

4-(1)-アを参照

関連事業

展示解説（4-(2)-ウを参照）

展示内容

以下、展示コーナー毎にコーナーパネル全文と解説パネルタイトルと展示資料一覧を掲載

横須賀のはじまり

・コーナーパネル全文

「横須賀のはじまりーよみがえる古代人のくらしー」

三方を海に囲まれた三浦半島は、北部の急峻で複雑な地形と、なだらかな丘陵地帯の南部とで形成されています。また、陸路としては終着点でありながら、海路としては東西を結ぶ重要な中継地という地理的特徴ももっています。

三万年以上前にやってきた最古の狩人以来、三浦半島で生きた古代人たちは、この地理的・地形的特徴を

積極的に活用してきました。特に、豊かな海の恵みを得て暮らす、あるいは海路における重要な中継地となるなど、すべての時代において海と深く関わってきました。

海と生きた古代人の暮らし、海路を介して交流を重ねた地域など、この企画展示をご覧になりご理解いただければ幸いです。

・解説パネルタイトル

「年表」、「長井台地遺跡群」、「打木原遺跡」、「三万年前の陥穴」

・展示資料

長井打木原遺跡 SK08 土坑断面剥ぎ取り

石器素材の交易

・コーナーパネル全文

「石器素材の交易ー山を越え、海を渡る石材ー」

三万年以上前にやって来た三浦半島最古の狩人達は、長野県産の黒曜石を使っていました。その後縄文時代にいたるまで様々な石器素材が各地から運び込まれていますが、その最大の原因は石器加工に適した良質な石材が三浦半島では産出しないためと考えられま



1-(2)-ア 展示入口



1-(2)-ア 「横須賀のはじまり」

す。

伊豆・箱根など比較的近い地域のほか、長野県・栃木県・茨城県など遠方よりもたらされた石材も多く、なかでも伊豆諸島神津島産黒曜石の搬入は、陸路だけではなく海路によっても石材が運搬されていたことをしめすものです。ただし、同時期に複数産地の石材が搬入されていることから、遠隔地から直接ではなく、幾たびかの交易を経て間接的に入手していた可能性が高いと思われます。

・解説パネルタイトル

「横須賀最古の石器」、「三浦半島に搬入された石器素材産地」

・展示資料

ナイフ形石器・細石刃・細石刃核・加工痕のある剥片・剥片・敲石・台石・接合資料(長井打木原遺跡), 加工痕のある剥片・石核・接合資料(芦名唐池遺跡), ナイフ形石器・加工痕のある剥片・剥片・磨石(長井長浜ノ上遺跡), ナイフ形石器・搔器・石核・加工痕のある剥片(光の丘大塚東遺跡)

縄文時代

・コーナーパネル全文

「縄文時代ー海の恵みとくらしー」

新たな調理方法をもたらした土器の出現により食文化は革新的に発展し、生活様式も大きく変わりました。これが縄文時代の始まりです。

早期の三浦半島には大規模な貝塚が多くみられることから、豊かな海の恵みのなかで暮らしていたと考えられます。また、東西南部や中部・東海以西から運ばれた土器も出土しており、交易を中心とした広汎な交流があったこともうかがえます。しかし、温暖化に伴

う海水面上昇により自然環境は徐々に変化し、海からの恵みは減少していったようです。これに伴い早期末葉頃から遺跡数は急激に少なくなり、海水面が下降した後も大きく回復することはありませんでした。そして晩期には、ほとんど人は住んでいなかったようです。

・解説パネルタイトル

「縄文時代草創期の土器」、「夏島貝塚と夏島式土器」、「縄文土器編年表」、「上の台遺跡」、「吉井貝塚」、「伝福寺裏遺跡出土の土器」、「高坂貝塚」

・展示資料

尖頭器(長井台地遺跡群・佐島高原遺跡), 早期土器・土器片(浦賀平根山遺跡・深田台平坂東貝塚・走水小原第1遺跡・鴨居上の台遺跡・池田町大塚台遺跡・長井内原遺跡・田戸遺跡・吉井第1貝塚・三浦市大浦山遺跡・三浦市三戸遺跡・三浦市鶴ヶ島台遺跡・横浜市野島貝塚), 長井内原遺跡第20号住居跡出土土器片・石器群, 前期土器・土器片(佐原茅山貝塚・三浦市諸磯遺跡), 中期土器・土器片(箱崎町黒岩岬遺跡・久比里江戸坂貝塚・吉井第1貝塚・久里浜伝福寺裏遺跡), 後期土器・土器片(浦郷町榎戸B貝塚・西浦賀高坂A貝塚), 晩期土器片(神明町蓼原遺跡), 貝輪・猪牙製首飾り(吉井第1貝塚・江戸坂貝塚), 骨角・貝製装身具(吉井第2貝塚), 石皿(諸磯遺跡), 磨石(吉井第1貝塚・江戸坂貝塚), 磨製石斧・打製石斧(吉井貝塚・江戸坂貝塚・高坂貝塚・三浦市がんだ畑遺跡), 石鏃(内原遺跡・佐島高原北遺跡・鶴ヶ島台遺跡), 石棒(吉井第1貝塚・森崎春日台遺跡・三浦市上の原遺跡)



1-(2)-ア 「縄文時代」①



1-(2)-ア 「縄文時代」②

弥生時代

・コーナーパネル全文

「弥生時代—稲作文化の伝播—」

大陸から伝えられた稲作の定着により生まれたのが弥生文化です。弥生文化は稲作が最初に伝えられた北部九州から急速に東方に伝播し、前期の段階ですでに東北地方にまで達しましたが、三浦半島では中期になってようやく稲作が伝播してきたと考えられています。

この時期すでに東海地方以西では弥生文化が盛行しており、西高東低の文化格差が生まれていました。その大きな原因のひとつが稲作とほぼ同時に大陸から伝えられたと考えられている金属器の存在です。金属器の登場は、建築材や農耕具など木製品の生産を飛躍的に増大させたほか、武器としても利用されました。これら金属器の保有格差が東西の弥生文化の格差につながったと考えられますが、三浦半島の弥生時代の搬入品をみると中期より後期になって増加する傾向がみられ、特に東海地方からの搬入品が主体を占めています。

これは、弥生時代の三浦半島が東海地方と交流をもっていた証と考えられますが、全体的に出土量が少ないことから、さほど密接な関係ではなかった可能性をしめしています。

・解説パネルタイトル

「上の台遺跡」、「溝尾遺跡」、「高原遺跡」、「金属器」、「高原遺跡出土青銅器」

・展示資料

炭化米・磨製石鏃・環状石斧・磨製石斧(佐原和泉遺跡)、磨製石斧・軽石製砥石(佐島高原遺跡)、磨製石斧(上の台遺跡)、中期後半土器(泉遺跡・小矢部蛭畑遺跡)、後期土器(佐島高原遺跡・池田町三足谷

遺跡・林溝尾遺跡)、銅鏃(衣笠町住吉遺跡)、銅鏃・筒形銅製品・銅鑲・銅釧・鉄剣(佐島高原遺跡)、鉄剣・鉄鏃・刀子(上の台遺跡)、勾玉・管玉(泉遺跡)、石釧・ガラス製小玉・ガラス製勾玉(佐島高原北遺跡)、石製垂飾(佐島高原遺跡)、勾玉・石製垂飾(三足谷遺跡)

海の恵みをいただく

・コーナーパネル

「海の恵みをいただく」

・解説パネルタイトル

「土錘とは? 伝福寺裏遺跡」、「吉井貝塚から出土した動物たち」、「洞穴遺跡について」

・展示資料

[縄文時代] 尖頭形・針形・ペン先形・銛形・釣り針形骨角器・釣り針形骨角器未製品(吉井第1貝塚)、鹿角製釣り針(平坂東貝塚・江戸坂貝塚)、鹿角製銛(伝福寺裏遺跡)、貝刃(夏島貝塚・吉井第1貝塚・江戸坂貝塚)、土器片錘(吉井第1貝塚・江戸坂貝塚)、石錘大形石錘(伝福寺裏遺跡)、貝塚出土自然遺物(吉井第1貝塚)

[弥生時代~古代] 鹿角製銛(鴨居鳥ヶ崎洞穴遺跡)、鹿角製釣り針(三浦市黒崎の鼻)、有頭石錘(内原遺跡・長浜ノ上遺跡・長井清水遺跡・佐島高原遺跡・佐島)、切れ目石錘(佐島高原遺跡)、洞穴遺跡出土自然遺物(三浦市毘沙門洞穴遺跡群)、鉄製鉤・棒状土錘(上の台遺跡)、骨角製組合せ式釣り針(鴨居八幡社貝塚)、ツノ釣り針(田戸台横穴墓群)、土錘(神明谷戸遺跡)

古墳時代

・コーナーパネル全文

「古墳時代—首長間の交流—」

奈良県南東部を中心とした大和政権の出現によって



1-(2)-ア 漁撈用具(「海の恵みをいただく」)



1-(2)-ア 「弥生時代」

統一国家が生まれ、各地の首長達が権力を誇示するための墓である古墳を盛んに造ったのが古墳時代です。

国家の統一にともない三浦半島でも文様のない土師器などが出現してきますが、古墳時代の中心地が畿内にあったことから、前期から中期にかけては東海以西からの搬入品が多くみられます。ただし、このような傾向は弥生時代末から始まることから、古墳時代の直前には東海地方との活発な交流が開始されていたようです。

後期になると関東各地からの搬入品が目立ってきます。これは、畿内を中心とした一元的関係から、各地域間で独自の交流をもつ多元的關係が活発化したことを意味します。このようななかで、埼玉県・群馬県からの搬入品の存在は、当時の関東地方の中心地域であった内陸部の首長層が、海上交通の重要拠点である三浦半島を重視し、密接な交流をもとうとした証とも考えられます。このような首長間交流のなかで、当時貴重な金銅製品などが贈与されたのかもしれませんが、

・解説パネルタイトル

「土師器」、「須恵器」、「なたぎり遺跡」、「大塚古墳群」、「大津古墳群」、「蓼原古墳」、「長沢1号墳」、「かろうと山古墳」、「長浜横穴墓群」

・展示資料

初の圧痕のある壺底部（浦郷町なたぎり遺跡）、小形台付甕（長井佃嵐遺跡）、「S」字口縁台付甕（上の台遺跡・なたぎり遺跡・三浦市大浦山洞穴遺跡）、手焙り形土器（神明谷戸遺跡）、庄内式甕（上の台遺跡・佐島高原遺跡）、布留式土器（上の台遺跡）、布留系甕（大浦山洞穴遺跡）、北陸系高坏（なたぎり遺跡）、北陸系甕（泉遺跡）、駿東系壺（上の台遺跡）、伊勢湾系有段口縁壺（小矢部米の台遺跡）、初期須恵器（なた

ぎり遺跡・佐野八幡神社付近）、須恵器坏蓋模倣土師器坏・有段坏・比企型坏・上野産須恵器（なたぎり遺跡）、静岡県湖西窯産須恵器（池田町大塚古墳群）、埴輪（神明町蓼原古墳・大津1号墳）、直刀・鉄剣・鉾・鉄鏃・刀子・不明金具・滑石製白玉（長沢1号墳）、直刀・鉄鏃・金銅製刀装具・金銅製弓弭・金銅装鑿状鉄製品（光の丘かろうと山古墳）、琥珀製棗玉・ガラス製小玉・銅釧・直刀・金銅製刀装具・鉄鏃・鉄製馬具・須恵器提瓶（長井長浜横穴墓群）、銅釧（鴨居鳥ヶ崎横穴墓群）、骨鏃（追浜天神横穴墓群）

古代

・コーナーパネル全文

「古代—律令国家の成立—」

大和など、先進地域が古墳時代に別れを告げ、律令国家への道を歩み始めた7世紀後半頃、三浦半島は依然として古墳時代のなかにありました。しかし、横穴墓への畿内産土師器の副葬や、宗元寺建立とそれにもなう軒瓦版木の搬入など、律令の波は確実に押し寄せていました。

生産基盤の少ない三浦半島が単独の郡となった背景には、海上交通における重要拠点としての位置づけが確立していたためとも考えられますが、郡衙の設置により交通路は一層整備され、古墳時代にもまして各地からさまざまなものがもたらされるようになります。

奈良時代には関東地方産の須恵器などが多くみられますが、平安時代の9世紀後半頃になると愛知県産の高級陶器類もまとまって搬入されてくるようです。

・解説パネルタイトル

「古代陶器」、「古代の須恵器・緑釉陶器製作地」、「大町谷東遺跡」、「上吉井南遺跡」、「宗元寺跡」、「乗越瓦



1-(2)-ア さわってみよう



1-(2)-ア 「古墳時代」

窯址群」,「小荷谷遺跡」

・展示資料

ロクロ土師器坏(小矢部窯跡),土師器皿(上吉井北遺跡),須恵器坏(烏ヶ崎横穴墓群),須恵器坏・蓋(佐島深田横穴墓),須恵器鉢・円面硯(津久井大町谷東遺跡),緑釉皿(鴨居小荷谷遺跡),緑釉唾壺・壺(泉遺跡),緑釉碗(なたぎり遺跡),灰釉皿・碗・壺・小壺(光の丘コウロ遺跡),墨書土器(なたぎり遺跡・大町谷東遺跡),石製巡方(上吉井南遺跡),石製紡錘車・鉄製紡錘車(神明谷遺跡),鹿角装刀子(蓼原遺跡),曲刃鎌(コウロ遺跡),砥石(上吉井北遺跡),鉄滓(上吉井南遺跡),卜骨(蓼原遺跡),上吉井南遺跡第8号住居跡出土灰釉陶器浄瓶・同壺・同皿・鉄鉢形ロクロ土師器・ロクロ土師器皿・同坏,軒瓦・瓦塔・灰釉陶器獸脚付鉢・同小壺・鞆羽口(公郷町宗元寺跡),軒瓦・丸瓦(秋谷乗越瓦窯址群),準構造船板材転用?井戸枠(小荷谷遺跡)

煮るから蒸すへ

・コーナーパネル全文

「煮るから蒸すへー調理方法の変遷ー」

より豊かな食生活を求めた人類がたどり着いた画期的な調理器具が、16,000年前頃に北東アジアで発明されたといわれる土器です。食材を煮るための調理器具ですが、煮ることで食材を軟らかくし、殺菌するなど食材の範囲を格段にひろげたことから、食は飛躍的に豊かになったのです。

出現当初は焼け礫を土器に入れて沸騰させていましたが、その後土器を屋内の炉で直接火に掛けるようになります。弥生時代に入ると米を煮るための甕が使われますが、後期には熱効率の良い台付甕が登場します。

古墳時代中期になるとカマドが登場してきます。朝鮮半島から伝えられた当時最新の調理方法であり、それまでの煮るから蒸すへと大きく変化しました。したがって、当時は米を蒸して食べていたことになります。しかし現在の調理方法をみてもわかるように、蒸すは一部の調理に残るだけです。

・解説パネルタイトル

「調理方法の変遷」,「尖った土器はどう使う」,「カマド(竈)」

・展示資料

縄文時代早期尖底土器・焼礫群(上の台遺跡),弥生時代中期甕(上の台遺跡・長井大木根遺跡),弥生時代後期台付甕(大木根遺跡、佐島高原遺跡,三足谷遺跡),古墳時代前期台付甕(内原遺跡・上吉井南遺跡),古墳時代後期甕・甕(上の台遺跡・芦名十二所神社遺跡),カマド模型



1-(2)-ア 「古代」



1-(2)-ア 煮沸の変遷(「煮るから蒸すへ」)

イ 企画展示②

「初公開! 仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」

日仏交流 160 周年目にあたる平成 30 年（2018 年）、当館では、横須賀製鉄所のフランス人技術者で製図工長ルイ・メラング（Louis Mélingue）の子孫に伝来した 71 点の貴重史料で構成される資料群を収蔵した。本企画展示は、これらをいち早く公表して披露すべく、新規収蔵資料の速報展という形で、これらを一堂に展示・紹介したものである。資料群にはフランス語の古文書を多く含み、解読作業も中途ではあったものの、展示の速報性を重視した。その中で、一部の重要資料については、手書き資料の翻刻と翻訳を添えて展示を行い、来館者からも展示資料の魅力に関する多くの反響を得る事が出来た。

全資料の展示と速報性を重視した今回の企画の中で、写真資料については実物資料全点を全期間展示することは資料の保存上、難しかったため、実物資料については、期間中に入れ替えを行いながら展示した。写真の全資料の展示紹介については、デジタル化した全写真 38 点をパネルで紹介するとともに、4K テレビを活用して全ての写真をスライドショーで紹介する高画質での映像展示も行った。

展示開催に際して、横須賀市民の皆様をはじめ、文部科学省（JSPS 科研費 20760435,24760530, 18K04552）、株式会社ノジマ、横須賀の文化遺産を考える会代表長浜つぐお氏、慶應義塾大学講師西部由里子氏など、多くの機関や関係者の支援を得た。

担当：菊地

開催場所

本館特別展示室

開催期間・見学者数

4-(1)-アを参照

関連事業

展示解説（4-(2)-ウを参照）

展示内容

以下、展示区画毎に展示資料内訳を掲載

第1部 メラング父(トーマス・ベンジャマン・メラング, *Thomas Benjamin Mélingue*) に関する資料

・パネル

1-1 「セント・ヘレナ勲章授与証明書」 Brevet d'écarternant la Médaille de Sainte-Hélène de Napoléon 1er, 1821 年 5 月 5 日

1-2 「シェルブール港人事通達書」 Lettre de la Marine République Française et Colonies, 1849 年 6 月 19 日

1-3 「退役に関する通達書」 Lettre de la Marine et Colonies, 1850 年 6 月 6 日

1-4 「写し」(人事に関する資料) Lettre de la Marine et Colonies, 1850 年 5 月 6 日



1-(2)-イ 企画展示「初公開! 仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」

[全天周カメラで撮影]

第2部 メラングに関する資料, *Lettres et documents concernant Louis Mélingue*

・パネル

- 2-1 「任命書」 Lettre nommant charpentier calfat à l' Arsenal de Cherbourg, 1846年3月23日
- 2-2 「命令書」 Lettre par la Marine et Colonies, Direction des Constructions navales du Port de Cherbourg, 1855年4月28日
- 2-3 「手紙」(二つ折り) Lettre manuscrite du directeur de la Compagnie générale maritime, Paris, 1858年4月14日
- 2-4 「手紙(青い便箋)」 Lettre autographe sur papier bleu, 1862年10月30日
- 2-5 「手紙と封筒」 Lettre autographe (déchirée au milieu, mais complète) de la Compagnie universelle du Canal maritime de Suez, 1865年8月24日
- 2-6 「シェルブール時代の名刺」 Carte de visite de « Louis Mélingue – Cherbourg »
- 2-7 「手紙」 Lettre du « Ministère de la Marine et des Colonies, 2e Direction- Personnel, 1er Bureau – Corps entretenu. », 1870年2月25日
- 2-8 「昇進に関する公文書の写し」 « Dépêche Ministérielle » (copie de) de La Direction, 1872年8月30日
- 2-9 「昇進に関する公文書の写し」 « Dépêche Ministérielle » (copie de) de La Direction Personnel, 1878年1月21日
- 2-10 「パリ万博での功績を称える手紙」 Lettre, 1878年12月20日
- 2-11 「士官用手帳」 Livret pour officier, 1877年9月11日
- 2-12 「フランス海軍在職記録」 Extrait des Archives du Ministère de la Marine, 1887年3月21日
- 2-13 「命令書」 Lettre manuscrite à en-tête du ministère de la Marine & Colonies, 1889年4月17日
- 2-14 「デッサン」 Dessin, 年次不詳

第3部 横須賀製鉄所時代(1865年～1869年)のメラングに関する資料, *Documents concernant les activités de Louis Mélingue à l' Arsenal de Yokosuka 1865-1869*

・パネル

- 3-1 「雇用契約書」 Contrat d' engagement, 1865年11月1日
- 3-2 「書状」 Lettre à en-tête du Ministère de la

Marine et des Colonies, 1865年11月9日

- 3-3 「横須賀製鉄所規則書」 « Avis général. », « Extrait de la Constitution de l' Arsenal, 1865年9月25日
- 3-4 「通知書」 Avis, 1865年11月18日
- 3-5 「柴田日向守からの晩餐会の招待状」 Lettre autographe de « Son Excellence Shiobata Hiouganokami, Commissaire du Gouvernement Japonais, », 1866年1月10日
- 3-6 「横須賀製鉄所時代の名刺」 Carte de visite de « L. Mélingue – Chef de Dessin de l' Arsenal d' Yokoska (Japon) », 1866年から1869年の間と推定
- 3-7 「手帳・日誌」 Mementos. Agendas de la main de Louis Mélingue, 2冊, 1868年・1869年
- 3-8 「銅銭」 11 pièces de monnaie métalliques, 11枚
- 3-9 「メラング長女戸籍抄本」 « Extrait du Registre des Actes de l' Etat Civil (section des naissances) du Consulat Général de France au Japon, pour l' année 1867. » « Acte de naissance de Ernestine Louise Henriette Marie-Alexandrine Mélingue, née à Yokoska (Japon) le 20 juillet 1867. » Fait à Yokohama, le 23 juillet 1867. Signé par « Le Chancelier Substitué Alphonse J. van der Voo », 1867年7月23日
- 3-9 「メラング長女戸籍抄本写し」 Copie du précédent « Fait à Yokohama, le 31 mai 1868. » « Extrait du Registre des Actes de l' Etat Civil (section des naissances) du Consulat Général de France au Japon, pour l' année 1867. » « Acte de naissance de Ernestine Louise Henriette Marie-Alexandrine Mélingue, née à Yokoska (Japon) le 20 juillet 1867. », 1868年5月31日

第4部 横須賀製鉄所時代(1865年～1869年)の資料 *Documents concernant l' Arsenal de Yokosuka*

・パネル

- 4-1 「東京湾と三浦半島相模湾沿岸の地図」 Carte en 6 feuilles séparées mesurant, jointes situant Yokosuka sur la péninsule de Miura, entre les baies de Tôkyô et de Sagami, 幕末期
- 4-2 「外国人用共同住宅見取図」 Plan de masse sur papier de dessin de la « maison commune » (d' habitation) du personnel étranger de l' arsenal., 幕末期
- 4-3 「横須賀製鉄所の工事状況図」 Plan de l' « Arsenal d' Yokoska – Plan général indiquant la

situation des travaux en avril 1869 ». Échelle - pour un mètre : 0,001., 1869年5月10日

4-4 「房州野嶋ヶ寄真景（法田寺蔵版）」 Carte japonaise « Vue exacte de Noshimagasaki, Province de Bôso »

4-5 「大日本名所一覧（二代目歌川広重作）」 Carte en couleurs du Japon : « Vue des lieux célèbres du Grand Japon », 1866年10月

第五部 横須賀製鉄所時代の写真 *Photographies concernant l'Arsenal de Yokosuka*

・パネル

5-1 「横須賀村と猿島」 Vue du village japonais de Yokosuka., 1866年頃

5-2 「建設中の集会所」 Vue de loin de la maison commune, 1866年頃

5-3 「集会所及び仏人宿舎」 Vue de près de la maison commune, 1866年末から1867年頃

5-4 「礼拝堂・司祭館・集会所など」 Vue de la maison commune et ses deux bâtiments de service à droite, ainsi que de la chapelle avec sa sacristie à gauche. , 1867年頃

5-5 「礼拝堂・司祭館・集会所など」 Autre vue près qu' identique à la photo no 4, 1867年頃

5-6 「礼拝堂・司祭館・聖具納室」 Vue de $\frac{3}{4}$ de la chapelle, flanquée d' un presbytère à gauche, et de la sacristie à droite. , 1867年頃

5-7 「礼拝堂と新しく建った4棟の住居」 Vue de la chapelle et de quatre nouvelles habitations à l' arrière fond., 1868年頃

5-8 「フランス人住居4棟ほか」 Vue de plus près des quatre nouvelles habitations au fond, et le presbytère (?) devant, à droite. , 1867年頃

5-9 「首長ヴェルニー住居・ロープ工場など」 Vue d' ensemble des bâtiments d' habitation et de service, 1867年または1868年頃

5-10 「未完成の事務局」 Vue de $\frac{3}{4}$ d' un bâtiment (bureaux) encore inachevé, 1866年または1867年頃

5-11 「対岸から見た横須賀製鉄所、建設中のロープ工場」 Vue de la mer de l' ensemble de l' arsenal à ses débuts, 1866年末から1867年前半頃

5-12 「首長ヴェルニー住居とロープ工場」 L' habitation du directeur de l' arsenal et la corderie, 1867年頃

5-13 「駐在所及び職人詰所の建物」 Vue de face d' un

autre bâtiment technique, 1868年頃

5-14 「山を切りくずした後の横須賀製鉄所」, Vue d' une autre construction (abri avec toit de chaume) en contrebas, sur fond de montagne (carrière ?). , 1866年頃

5-15 「切石・石材置き場」 Vue sur massifs rocheux en arrière fond (carrières ?), avec blocs de pierre taillés alignés au premier plan. , 1866年

5-16 「木材や石材の資材置き場」 Vue sur le chantier encore rudimentaire, avec matériaux de construction, 年代不詳

5-17 「浮橋からの眺め・起重機」 Vue sur un ponton avec lourde grue métallique en construction, 1867年頃

5-18 「造成中の第1号ドライドック」 Vue du creusement des bassins, 1867年頃

5-19 「木材と石材の荷揚げ場」 Vue sur une première rampe de lancement sur la plage en pente au premier plan, 1867年頃

5-20 「碇泊場奥の風景」 Vue sur le fond de la baie, 1866年頃

5-21 「逸見からみた横須賀製鉄所」 Vue d' un point élevé sur la baie de Yokosuka au loin, 1868年頃

5-22 「対岸から見た横須賀製鉄所」 Vue d' ensemble de l' arsenal de la montagne face au chantier., 1868年頃

5-23 「対岸から見た横須賀製鉄所」 Vue télescopique sur la rade, 年次不詳

5-24 「造船台上の燈明丸」 Bateau à vapeur prêt à être lancé à l' eau, 1869年頃

5-25 「船台上の船」 Bateau en cale sèche, 年次不詳

5-26 「風景写真」 Vue de la rive sur la rade, 年次不詳

5-27 「建造中の横浜丸（弘明丸）」 Yokohamamaru en construction, 年次不詳

5-28 「横須賀製鉄所の船台ほか」 Cale sèche de l' arsenal et autre, 年次不詳

5-29 「船台での作業の様子」 Cale sèche, 年次不詳

5-30 「横須賀製鉄所集合写真」 Photo de groupe, 1868年頃

5-31 「横須賀製鉄所フランス人集合写真」 Photo de groupe : sept hommes français et un garçonnet. , 1868年頃

5-32 「横須賀製鉄所フランス人集合写真」 Photo de groupe : sept hommes français et un garçonnet., 1868年頃

5-33 「建築課長フロラン家族写真」 Photo de la famille Florent., 年代不詳

5-34 「メラングの家族写真」 Photo de Louis et Madame Mélingue, et leur petite fille Henriette au milieu, 明治初期

5-35 「メラング長女と女中さん」 Photo de Henriette Mélingue sur les genoux d' une jeune domestique japonaise, 1868年

5-36 「メラング長女と女中さん」 Photo de Henriette

Mélingue sur les genoux d' une autre jeune domestique japonaise, 1868年

5-37 「メラング夫人と長女エルネスティーヌ」 Portrait de Madame Mélingue assise, avec la petite Henriette sur ses genoux, 1868年

5-38 「日本人の女中さんたちと子どもたち」 Photo de quatre jeunes domestiques japonaises assises, en geta, chacune avec un très jeune enfant sur ses genoux, 年代不詳

2 研究発表会

(1) みんなの理科フェスティバル

「第2回 みんなの理科フェスティバル」

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、様々な出展者による研究発表会やワークショップ、講演会などを開催した。本事業は横須賀市文化会館の共催とし、事業開催費用の一部に対して公益財団法人日産財団の理科教育助成を受けた。

担当：内舩

開催場所

本館講堂・講座室、横須賀市文化会館第一市民ギャラリー

開催期間・来場者数

4-(3)-イを参照

開催内容

ギャラリー出展

開催期間中、文化会館のギャラリーに子どもから大人まで様々な「理科」の作品を集約展示した。

・理科工作

市内小学校の「創意くふう展」入賞作品5件、市内中学校科学部の「ものづくり教育フェア（ロボコン）」出品作品1件の展示

・理科研究

市内小学校の「子ども科学賞」入賞作品4件、県立高校の科学部および1～3年次の各研究カリキュラム21件、大学院生2件、市内研究機関2件、市内研究団体4件、市外研究団体1件、大学研究員1件、当博物館2件の展示



2-(1) 会場（文化会館第一市民ギャラリー）



2-(1) みんなの発表会①
（小学生の理科研究発表）

・理科活動

横須賀市役所（事業説明）1件、横須賀市立保育園（園児たちによる博物館見学の絵）1件、当博物館（主催および協力事業による参加者の成果展示）2件、市内研究団体（写真展）1件

・ワークショップ

大学航空宇宙工学研究室（実験ショー）1件、県立高校科学部（実験観察、工作）2件、当博物館（工作）1件

みんなの発表会

12月16日、出展者にギャラリー出展会場へ出席いただき、午前と午後の2部制で、出展者の一部による作品紹介や実験演示、一般来場者も含めた交流の時間を設けた。午前の部では横須賀市教育委員会教育指導課が主催する「創意くふう展」の表彰式も行った。

パネル展示「日本近海の深海生物パネル展」

本館講堂。12月14日～31年1月14日。研究開発法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）から提供いただいた深海画像資料と映像資料を、パネル25点と映像（3分30秒）にて展示したほか、博物館の標本資料10点を展示した。担当：萩原。

トークショー①：自然環境講演会

本館講座室。12月15日。4-(5)-アを参照。

トークショー②：自然館ミュージアムトーク

本館講座室。12月15日。4-(2)-ウを参照。

スタンプラリー

12月15・16日。ギャラリー（文化会館）と博物館を相互に見て回れる工夫としてスタンプラリーを実施し、201人が参加した。担当：山本。

(2) よこすかの歴史最前線

「第4回 よこすかの歴史最前線」

日頃、三浦半島の歴史について調べられている市民の方々と博物館の職員が、最新成果を発表し合う場として第4回目を迎えた。講座室において行った。発表は申し込み制、聴講は自由。

担当：安池

開催場所

本館講座室

開催期間・来場者数

4-(4)-イを参照

開催内容

・口頭発表

『浦賀の御蔵は何のためにある?』 安池尋幸

『昭和天皇海軍航空廠行幸』 永久淳雄

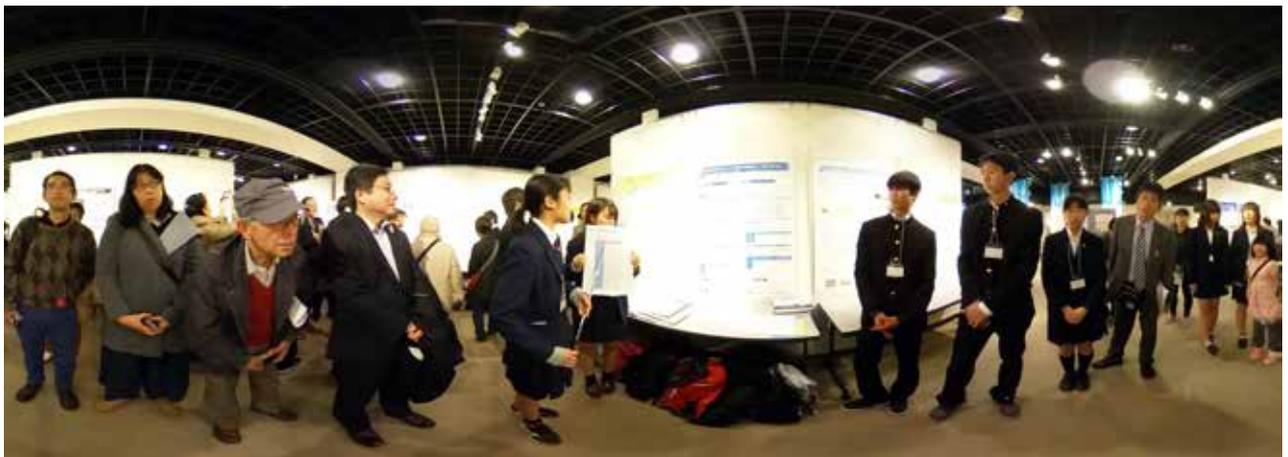
『日本遺産「逸見波止場衛門」=その成り立ちを検証する=』 長浜つぐお



2-(1) みんなの発表会②
(創意くふう展 表彰式)



2-(1) みんなの発表会③
(横須賀市環境政策部環境企画課の事業説明)



2-(1) みんなの発表会④ (交流の時間)
[全天周カメラで撮影]



2-(1) パネル展示



2-(1) スタンプラリー用紙

3 調査等出張概要

(1) 調査出張

ア 調査出張①

「北陸地方における古墳と玉作り遺跡の調査」

海路における重要な中継地点であると同時に、前期には玉作り遺跡が存在し、後期以降には横穴墓が群集するなど、古墳時代の三浦半島と北陸地方沿岸部は多くの共通点を有している。三浦半島の特性を考えるうえでは、遠隔地でありながら類似した様相を呈する両地域の比較が必要であることから、北陸地方各地での現地調査をおこなった。10月2日～10月6日。

担当：稲村

日程・調査地

10月2日 福井県福井市足羽山古墳群・松岡古墳群
10月3日 石川県加賀市片山津玉作遺跡・法皇山横穴墓群

10月4日 石川県宝達志水町散田金谷古墳・小谷屋横穴墓群
10月5日 新潟県糸魚川市寺地遺跡・青海川河口
10月6日 新潟県糸魚川市長ヶ原遺跡・考古館



3-(1)-ア 松岡古墳群
(福井県福井市)



3-(1)-ア 法皇山横穴墓群
(石川県加賀市)



3-(1)-ア 散田金谷古墳
(石川県宝達志水町)



3-(1)-ア 寺地遺跡
(新潟県糸魚川市)

(2) 博物館大会等の参加・発表に伴う出張

ア 出張①

「国際博物館会議 (ICOM) 舞鶴ミーティング 2018 における講演」

9月30日～10月1日、京都府舞鶴市（舞鶴引揚記念館、舞鶴市商工観光センター）。ICOM・ICOM日本委員会・ICOM京都大会組織委員会主催。2019年9月に日本では初の開催となる国際博物館会議（ICOM）のプレイベントに位置づけられた大会であり、公募方式で10題の講演が2つのセッションに分かれて実施され、「地域コミュニティとミュージアム」において『商店街イベント参画を軸とした「つなげる博物館」の取り組み』の講演を行い、パネルディスカッションに参加した。「活気のある地域博物館に興味をもった（アクソイ ICOM 会長）」など、国内外の博物館関係者に興味をもってもらえることができた。エクスカーションでは開館30年目に当たる2018年4月にグランドオープンをした舞鶴引揚記念館を見学し、収蔵資料をユネスコの世界記憶遺産に認定させることで国内外の注目を集め、グランドオープンへの道筋を作った学芸員の話聞くことができた。尚、出張経費は平成30年度科学研究費補助金（間接経費）によるものである。

担当：内船

イ 出張②

「全国科学博物館協議会第26回研究発表大会」

平成30年2月15日、愛知県豊橋市（豊橋市自然史博物館）。全国科学博物館協議会主催。26回目となる年次研究発表大会であり、公募方式で21題の口頭発表が実施され、『理科でつながる子どもと大人—地域文化の核を目指す「みんなの理科フェスティバル」の取り組み—』の講演を行い、当博物館における新しい教育普及・地域連携の取り組みをPRした。科学館で教育普及に関わる職員からの反響が得られた。人口37万人の豊橋市にある同市自然史博物館は2019年に開館30周年を迎えており、大会では口頭発表に先立って同館館長による同館の沿革が語られ、横須賀市と同等の規模の自治体における教育施設の運営や、公園等周辺施設との連携について学んだ。

担当：内船



3-(2)-ア 大会会場
(舞鶴市商工観光センター)



3-(2)-ア エクスカーションで解説する学芸員
(舞鶴引揚記念館)

《チラシ》



特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」



企画展示①「横須賀のはじまり -よみがえる古代人の暮らし-」



企画展示②「初公開！仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」



みんなの理科フェスティバル

博物館事業概要

平成30年度（2018年4月～2019年3月）

4 展示教育普及事業

(1) 主催事業①（展示）

ア 特別展示・企画展示

タイトル	展示種別	担当	開催期間	見学者数	備考
なつかしの道具展 ～遊んで学ぶ博物館～	特別展示	瀬川	前年度から継続 ～4月8日[7日間]	2,581人	前号（65号）参照。
横須賀のはじまり ～よみがえる古代人の暮らし～	企画展示	稲村	4月28日～ 6月17日[44日間]	8,206人	詳細は本誌 p.9～11.
探検! スズメバチと 身近な昆虫の世界	特別展示	内船	7月28日～ 11月4日[86日間]	16,961人	詳細は本誌 p.3～8.
初公開! 仏国メラング家で 見つかった横須賀製鉄所資料	企画展示	菊地	12月15日～31年 3月24日[81日間]	17,377人	詳細は本誌 p.12～14.

計4件：延開催日数218日，延見学者数45,125人

※見学者数は当年度のみ計上

イ 常設展示

(ア) 展示新設

オオスズメバチの頭部大型模型

自然館2階踊り場壁面。特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」終了後に移設，その後，同展示で使用した照明の移設，翅の拡大プリントの掲示，解説パネルの設置を経て，31年2月1日完成。（担当：内船）

JAMSTECとのコラボ展示

自然館中3階の珍しい標本コーナーのウォールケース内に，横須賀市名対馬に本部を置く海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力のもと「珍しい深海の生物」展示を新設した。JAMSTECが深海探査で撮影した深海生物の写真パネル4点と深海生物の採集と生きた化石ラブカの生態をとらえた貴重な映像の展示に加え，

当館所蔵のオオグソクムシ、センジュエビ、ミドリフサアンコウ、シギウナギ、ホテイエソなどの深海生物の標本を展示した。31年2月28日完成。（担当：萩原）

(イ) 展示更新

壁面装飾

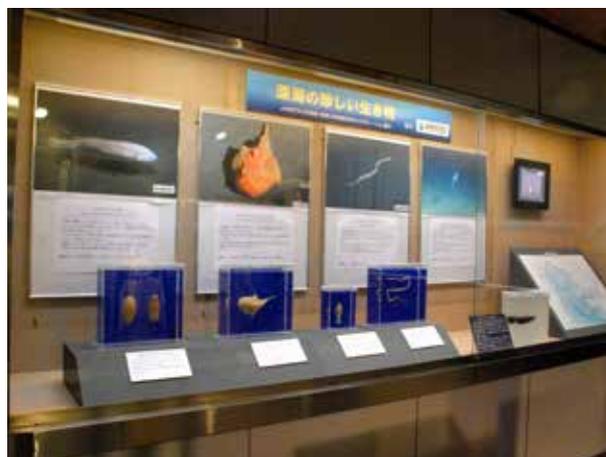
自然館2階受付前・人文館3階ラウンジ・馬堀自然教育園学習棟玄関。壁面装飾用シートを影絵のように切り抜き，装飾を行った。2月22日完成。（担当：山本）

天神島解説サイン更新

老朽化した園内の解説サイン2件「天神島の植物・海藻」「天神島の野鳥」を平成31年1月18日に更新した。（担当：柴田）



4-(1)-イ-(ア) オオスズメバチの頭部大型模型



4-(1)-イ-(ア) JAMSTEC とのコラボ展示



4-(1)-イ-(イ) 壁面装飾① (自然館2階受付前)



4-(1)-イ-(イ) 壁面装飾② (馬堀自然教育園学習棟玄関)



4-(1)-イ-(イ) 天神島解説サイン 「天神島の植物・海藻」



4-(1)-イ-(イ) 天神島解説サイン 「天神島の野鳥」



4-(1)-ウ-(ア) アンモナイトコレクション



4-(1)-ウ-(ア) 秋のきのみをさがそう

ウ トピックス展示

(ア) 自然館

タイトル	担当	開催期間	見学者数	備考
桜・さくら・サクラ	山本 内船	前年度から継続～ 4月15日[13日間]	3,429人	前年度からの継続展示，内容の詳細は前号に記載。
アンモナイトコレクション	柴田	4月28日～ 7月1日[56日間]	9,872人	当館所蔵のアンモナイト化石資料約500点のうち，厳選した資料40点を展示した。
カブトムシを調べよう	内船	7月14日～ 8月26日[38日間]	8,441人	「三浦半島カブトムシ移動調査」実施期間にあわせ，調査の概要や過去の成果の一部を紹介し，研究活動への理解を深めた。標本84種103点。
秋のきのみをさがそう	山本	9月1日～ 10月21日[44日間]	8,273人	植物の種子・果実について，身近にみられるものから外国産のものまで紹介しながら，様々な種子散布様式を解説した。
基礎から学ぼう昆虫学成果展	内船	10月27日～ 11月25日[26日間]	4,493人	当年度に開催した「基礎から学ぼう昆虫学」の講師や参加者が制作した標本・レポート・写真を展示した。
干支展示「イノシシ・猪・亥年」	自然	12月1日～31年 1月27日[45日間]	10,346人	平成31年の干支「亥」にちなんで，イノシシやイノシシにちなんだ名の生物資料として，ニホンイノシシやイボイノシシの頭骨や写真，イノシシの足跡，縄文時代の貝塚から発掘されたイノシシの骨，三崎でイノシシと呼ばれる魚類のキツネダイ，チョレイマイタケのレプリカなどを展示した。
新着標本 2019	自然	31年2月2日[50日間] ～次年度へ継続	10,611人	未公開の自然史標本を厳選して展示・公開した。【展示資料】地球科学：ウェーブリップル，ダチョウの足型，ツキノワグマの足型 昆虫：ヨツモンカメノコハムシ，ウルシゴキブリ，キマダラカメムシ，セナガアナバチ，ヒラタクワガタ 植物：マツバラシ，ヒメクラマゴケ 動物：サンマのレプリカ，須田清彦氏収集貝類標本23点

計7件：延開催日数272日，延見学者数55,465人

※見学者数は当年度のみ計上

(イ) 人文館

タイトル	担当	開催期間	見学者数	備考
何に使ったの？ －不思議な形の土器たち－	稲村	前年度から継続～ 6月10日[61日間]	16,071人	人文館2階渡り廊下。前年度からの継続展示，内容の詳細は前号に記載。
明治時代の横須賀を語る写真と 文書（明治150周年記念）	菊地	6月16日～ 8月19日[56日間]	11,100人	人文館2階渡り廊下。横須賀を記録した写真や文書，冊子について，明治時代のもを抜粋して展示紹介した。
「夜明け前」の横須賀－青山半蔵 の故地と幕末・明治（明治150 周年記念）	安池	8月25日～ 12月24日[105日間]	20,797人	人文館2階展示室。島崎藤村と親戚関係にあり，藤村が著した小説にもつながりがある永嶋家の古文書などを展示した。
さよなら平成展	瀬川	31年1月12日[68日間] ～次年度へ継続	14,581人	人文館2階渡り廊下。改元を記念して，平成初中期に登場した商品や新聞・書籍などを展示した。また，上皇陛下が新種発表論文に使用したタイプ標本を展示した。

計4件：延開催日数290日，延見学者数62,549人

※見学者数は当年度のみ計上

エ 季節展示

タイトル	担当	開催期間	見学者数	備考
ホテルのヒカリ	内船	5月12日～ 7月1日[44日間]	7,395人	前年度に引き続き，自然館2階森林のジオラマのホテルLEDを点灯した。詳細は前号（65号）参照。
七夕	山本 瀬川	6月30日～ 7月15日[14日間]	2,286人	前年度に引き続き，自然館・人文館各エントランス付近に，馬堀自然教育園で伐採したササに七夕の飾り付けをして，解説パネルとともに展示した。
十五夜	山本 瀬川	9月28日～ 10月21日[21日間]	3,809人	前年度に引き続き，自然館・人文館各エントランス付近に，十五夜に関連した博物館資料と解説パネルを展示した。
ハロウィン	山本	10月27日～ 11月4日[8日間]	1,708人	前年度に引き続き，人文館1階ロビーに，地元農家に提供いただいたカボチャを写真・さく葉標本・解説パネルとともに展示した。
クリスマス	山本 内船	12月8日～ 12月24日[15日間]	3,938人	自然館・人文館各エントランス付近に，当年度博物館実習受講生が提案した企画を元に展示中の博物館資料の写真をクリスマスをテーマにした装飾によって，解説パネルとともに展示した。

計5件：延開催日数102日，延見学者数19,136人



4-(1)-ウ-(ア) 基礎から学ぼう昆虫学成果展



4-(1)-ウ-(ア) 干支展示「イノシシ・猪・亥年」



4-(1)-ウ-(ア) 新着標本2019



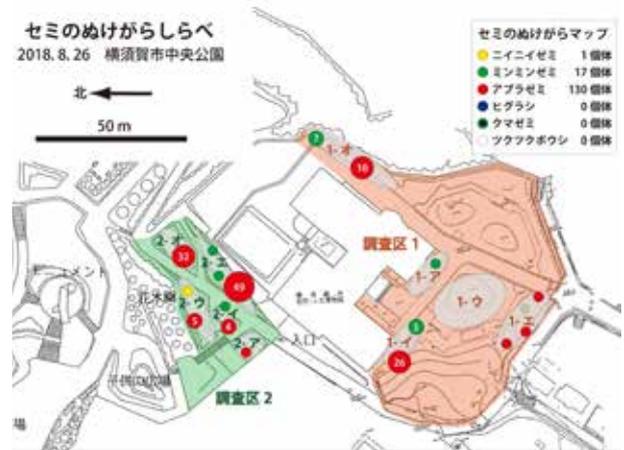
4-(1)-ウ-(イ) さよなら平成展



4-(1)-エ 季節展示「七夕」
(左：人文館，右：自然館)



4-(2)-ア 基礎から学ぼう昆虫学①



4-(2)-ア 基礎から学ぼう昆虫学②
(セミの抜け殻しらべ結果)



4-(2)-ア 植物標本のつくりかた



4-(2)-ア 三浦半島の考古学



4-(2)-イ(ア) 海藻入門



4-(2)-イ(ア) 荒崎の地層

(2) 主催事業② (学習会)

ア 博物館教室

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備 考
そだててしらべる! カブトムシ	内船	5月5日・7月14日	講堂	55人	全2回。カブトムシを教材に、幼虫から成虫までの飼育体験を通じて昆虫の形や生態について学ぶ機会とした。
三浦半島の歴史	人文	5月9日・16日・23日・30日・6月6日・13日・20日・27日・7月4日	第1・2学習室, 野外	306人	全9回。歴史の入門編として、三浦半島に人が住み始めた先土器時代から近代までの歴史を、人文部門の学芸員全員が分担して概説した。期間中の2回は古代の遺跡や近代の建物などを現地で見学した。
基礎から学ぼう昆虫学	内船	5月27日・6月10日・7月8日・8月26日	講座室, 野外	103人	全4回。身近な昆虫観察に必要な知識・技術を習得し、地域の自然環境を継続的にモニタリングする人材の育成を目標に実施した。本館・中央公園のほか、馬堀自然教育園や観音崎公園で実施した。最終回では中央公園でセミの抜け殻調査を実施した。学習成果は本館にて展示した。協力：三浦半島昆虫研究会、県立観音崎公園
植物標本のつくりかた	山本	6月9日・16日	講堂, 野外	14人	全2回。標本の意義の博物館の役割について解説した後、採集した植物で標本を作製した。また、押し花作品の制作を通じて植物に親しんだ。
三浦半島の考古学	稲村	10月10日・17日・24日・31日・11月7日・14日・21日・28日	第2学習室, 野外	237人	全8回。三浦半島には、人が住み始めたときから絶え間なく様々な地域の石材や土器・金属製品などがもたらされており、これらは単に半島内で消費されたものだけではなく、さらに遠方にも運ばれていたと考えられている。なぜ・いつ・どのように・どこからもたらされたのかについて、半島内の遺跡から出土した遺物をとおして学習した。
三浦半島の自然誌	自然	11月8日・15日・22日・29日・12月6日・13日	講堂	97人	全6回。自然部門学芸員及び研究員が、それぞれの担当分野の視点から三浦半島の自然について講義を行った。
三浦半島の都市建築史	菊地	11月9日・16日・23日・30日	第1学習室, 野外	66人	全4回。横須賀・三浦半島における幕末以降の近代化と都市化について、歴史的建造物を通して考える行事とした。本年度の行事では、特に中心市街地の形成と変遷について詳しく紹介した。
横須賀ジオツアー (地層見学講座)	柴田	31年1月12日・26日(中止)・2月9日(中止)・23日・3月23日	講堂, 野外	77人	全5回。本館で三浦半島の地球科学について解説したのち(第1回)、鎌倉市～横浜市朝妻奈切通(第4回)と横須賀市観音崎公園(第5回)で地層を見学した。第2回は講師の体調不良のため、第3回は雨天のため中止。協力：三浦半島活断層調査会。
三浦半島の民俗	瀬川	31年2月7日・3月9日	第1学習室, 野外	31人	全2回。様々なモノの供養について学習し、走水神社で行われる針供養を見学した。

計9件：延開催日数40日、延参加者数986人

イ 自然観察会・野外学習

(ア) 自然観察会

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備 考
海藻入門	山本	4月28日	天神島臨海自然教育園	9人	天神島の多様な海岸環境とその重要性について解説し、この時期に多く見られる海藻を観察した。約50種の海藻を確認し、その一部を押し葉標本にした。
干潟の生き物	萩原	5月13日	長井	9人	強い西風と接近した低気圧の影響によって、あまり潮が引かなかったが、シギ・チドリ類などの渡り鳥や、エビ・カニ類や貝類など、干潟にあらわれる生き物約30種を観察した。
荒崎の地層	柴田	5月19日	荒崎周辺	6人	荒崎で見られる地層を観察した。スコリア凝灰岩、泥岩、級化層理、コンボルト層理、皿状構造、火炎状構造、スランプ、断層、火山灰鍵層などを観察した。協力：三浦半島活断層調査会。

ホテルの観察①, ②	内船	① 6月9日 ② 6月16日	馬堀自然教育園	① 44人 ② 43人	ホテルの生態や自然教育園による環境整備・生物保護活動について解説を行い、ホテルを観察した。①ではゲンジボタル 40 個体、ヘイケボタル 10 個体、②ではゲンジボタル 20 個体、ヘイケボタル 5 個体が確認された。
ウミウシの観察	萩原	6月16日	天神島臨海自然教育園	7人	当日は時折、小雨が舞う天候であったが、天神島の磯で見られるウミウシの観察を行い、17種のウミウシ類と約30種の磯の生き物を観察した。
潮だまりの生き物	萩原	7月28日	天神島臨海自然教育園	-	荒天のため中止。
夜の昆虫かんさつ①, ②	内船 山本	① 8月3日 ② 8月4日	天神島臨海自然教育園	① 29人 ② 32人	自然教育園の自然環境と博物館の調査活動を体験する機会として、明かりに集まる昆虫や夜の砂浜を徘徊する昆虫等を観察したほか、ハマオモトの放花昆虫調査についても解説を行った。
箱めがねで 磯の生き物を観察しよう	萩原	8月12日	天神島臨海自然教育園	31人	簡易な水中観察用具「箱めがね」を使って、エビ・カニ類、貝類、ナマコ類、魚類など約40種の生態を観察することができた。
秋のきのご観察	山本 丸山	10月13日	馬堀自然教育園	31人	教育園内を散策しながらきのこを採集し、学習棟にて同定を行った。
天神島の地層	柴田	10月28日	天神島臨海自然教育園	6人	天神島で見られる地層を観察した。火山豆石や断層、上下が逆転した地層などを観察した。
つくって学ぶ! しだ・こけテラリウム	山本	11月10日	馬堀自然教育園	17人	シダやコケを中心に植物の解説をしながら教育園内を散策した。園内で採集したシダやコケを使ったテラリウムを作製した。
身近な植物のクリスマスかざり	山本	12月8日	馬堀自然教育園	25人	教育園内を散策しながら冬季に見られる果実や種子を観察し、それらを用いたクリスマスリースなどの装飾品を作製した。

計 12 件：延開催日数 14 日、延参加者数 289 人

(イ) 野外学習

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
近代化遺産ツアー 1	菊地	6月29日	逸見	20人	旧海軍が明治時代から建設し大正 10 年に完成させた旧横須賀軍港水道逸見浄水場を中心に見学した。併せて、周辺地区に点在する歴史的建造物と都市化の様子などについて解説を行った。
ハレの日めぐり	瀬川	7月14日	横浜市戸塚区	12人	生活を彩る年中行事の意味や実際の様子を学習するため、横浜市戸塚区で行われる「お札まき」を見学した。
三浦半島の遺跡めぐり 1	稲村	12月7日	長井	18人	三浦半島の歴史を形成してきた主要な遺跡群を現地で見学し、各遺跡の有する特徴や時代背景などを学芸員が解説した。
近代化遺産ツアー 2	菊地	31年3月15日	船越・浦郷	13人	横須賀市船越・浦郷地区の旧軍施設などの歴史的建造物を巡りながら都市形成過程を現地で確認した。
三浦半島の遺跡めぐり 2	稲村	31年3月22日	追浜	26人	三浦半島の歴史を形成してきた主要な遺跡群を現地で見学し、各遺跡の有する特徴や時代背景などを学芸員が解説した。

計 5 件：延開催日数 5 日、延参加者数 89 人

ウ 展示解説・ガイドツアー

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
特別展示解説（なつかしの道具展～遊んで学べる博物館～）②	瀬川	4月1日	特別展示室	13人	各コーナーの意図や展示資料の詳細、人文館 2 階古民家の映像展示について解説した。
自然館ミュージアムトーク①～⑤	自然	① 4月7日 ② 5月6日 ③ 11月3日 ④ 12月15日 ⑤ 3月31日	自然館	82人	自然館の常設展示解説を中心に参加者とのコミュニケーションを図る機会とした。④では理科フェスティバル会場も案内した。
企画展示解説（横須賀のはじまり～よみがえる古代人のくらし～）①, ②	稲村	① 4月28日 ② 6月3日	特別展示室	68人	企画展示の内容について、担当学芸員が詳しく解説した。

天神島ガイドツアー	小長谷	毎月第4日曜	天神島臨海自然教育園	144人	ビジターセンターの展示や教育園内の自然について、その時々体験できる話題を取り上げて解説した。12月は荒天により中止。
人文館常設展示解説①, ②	①菊地・瀬川・安池 ②稲村	①5月4日 ②5月5日	①人文館2階 ②人文館1階	①17人 ②15人	①は人文館2階の常設展示について、②は人文館1階の考古に関する常設展示について、それぞれ担当学芸員が解説をおこなった。
博物館しぜん探検	自然	7月26日	自然館	14人	自然館の展示の裏側や資料室などのバックヤードを見学し、ふだん資料室に収蔵されているめずらしい資料の閲覧と学芸員の解説を行った。
特別展示解説(探検! スズメバチと身近な昆虫の世界)①~③	内船	①7月28日 ②9月16日 ③10月28日	特別展示室	150人	特別展示の解説のほか、①では「展示の参考になった本」、②では「スズメバチ調査」、③では「三浦半島の昆虫100種」について、それぞれ話題提供した。
博物館れきし探検	人文	7月29日	人文館	9人	普段は入ることができない資料室などを見学しながら、博物館資料の保存やクリーニングについて学習した。
文化財収蔵庫公開	瀬川 安室	11月4日	文化財収蔵庫	33人	国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」について、漁具・漁法から信仰に至るまで幅広く安室研究員が解説した。
企画展示解説(初公開! 仏国メラング家でみつけた横須賀製鉄所資料)①, ②	菊地	①12月15日 ②31年3月9日	特別展示室	110人	企画展示の内容について、担当学芸員が詳しく解説した。

計10件：延開催日数29日，延参加者数655人

エ ワークショップ

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
子ども地球教室	柴田	7月21日	科学教室・講堂	36人	化石、岩石、鉱物の観察、地層のでき方の実験、液状化実験、地震のしくみの解説などを行った。
身近な植物のずかんづくり①, ②	山本	①, ②とも7月27日	科学教室	①32人 ②19人	植物の分類や図鑑の構成について解説し、植物の押し葉素材や写真シールを用いながら、ワークシートに沿って検索表を作成し、自分だけの図鑑を完成させて発表した。
古代ネックレスをつくろう①~④	稲村	①8月4日 ②8月5日 ③8月11日 ④8月12日	講堂	①30人 ②35人 ③27人 ④26人	滑石を材料に勾玉などをつくり、ビーズとともに革ひもに通して古代のネックレスを完成させた。
特別展示ワークショップ(探検! スズメバチと身近な昆虫の世界)	内船	8月11日	科学教室	48人	特別展示室での短い解説の後、科学教室にて冷凍処理後のオオスズメバチ女王を配布し、観察した後に翅と針を用いたカードづくりを行った。
自分でつくる! 化石レプリカ①, ②	柴田	①, ②とも8月18日	講堂	①63人 ②61人	三葉虫とモササウルスの歯のレプリカを石膏で作らせ、太古の生物や化石資料の保存方法について解説した。

計5件：延開催日数10日，延参加者数377人



4-(2)-イ-(ア) 干潟の生き物



4-(2)-イ-(ア) 夜の昆虫かんさつ



4-(2)-イ-(ア) 箱めがねで磯の生き物を観察しよう



4-(2)-イ-(ア) 身近な植物のクリスマスかざり



4-(2)-イ-(イ) 三浦半島の遺跡めぐり 1



4-(2)-イ-(イ) 近代化遺産ツアー 2



4-(2)-イ-(イ) 三浦半島の遺跡めぐり 2



4-(2)-ウ 特別展示解説「なつかしの道具展」



4-(2)-ウ 天神島ガイドツアー (4月)



4-(2)-ウ 天神島ガイドツアー (6月)



4-(2)-ウ 特別展示解説
「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」



4-(2)-ウ 文化財収蔵庫公開



4-(2)-ウ 企画展示解説「初公開！ 仏国メラング家でみつかった横須賀製鉄所資料」



4-(2)-エ 身近な植物のずかんづくり



4-(2)-エ 子ども地球教室



4-(2)-エ 特別展示ワークショップ
「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」



4-(2)-エ 古代ネックレスをつくろう



4-(2)-エ 自分でつくる！化石レプリカ

(3) 主催事業③ (イベント等その他)

ア 博物館講演

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
記念館「三笠」を科学するーその謎と物語	安池菊地	5月19日	講座室	70人	演題(講演者):『記念艦「三笠」を科学するーその謎と物語ー』(毛利邦彦),『19世紀鉄船登場以前ー東京湾を往来した船ー』(安池尋幸).
よこすか歴史物語1「島崎藤村著『夜明け前』と横須賀ー歴史と意外な関連遺産ー」	安池菊地	9月17日	講座室	73人	演題(講演者):『「夜明け前」の横須賀ー青山半蔵ゆかりの人と幕末・明治ー』(安池尋幸).
よこすか歴史物語2「横須賀の昔話が意味するもの」	安池瀬川安室	31年3月17日	講座室	50人	演題(講演者):『伝説がごごろ』(安池尋幸).

計3件:延開催日数3日,延参加者数193人

イ 研究発表会

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
よこすかの歴史最前線	歴史	11月3日	講座室	75人	詳細は,2-(2)を参照.
みんなの理科フェスティバル	自然	12月14日~17日 [4日間]	文化会館講堂	2,143人	詳細は,2-(1)を参照.

計2件:延開催日数5日,延参加者数2,218人

ウ 特別公開

(ア) 文化財収蔵庫公開

5月3日~6日,11月1日~4日,文化財収蔵庫.気候が安定している5月と11月の計8日間,国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」を収蔵している文化財収蔵庫を公開した.国指定になっていない漁撈用具のうち数点を選び,「さわれる展示」を実施した.参加者303人.担当:瀬川

(イ) ナイトミュージアム

10月28日,本館.近隣の上町商店街連合会の協力のもと,同日に商店街で開催された「うわまちハロウィンフェスティバル」で申込みを行った方を対象に実施した.館内の一部に専用の動線を設け,申込者を3グループに分け,学芸員(内船・瀬川・山本)による解説を実施した.参加者150人.担当:内船



4-(3)-ア 記念館「三笠」を科学する



4-(3)-ア よこすか歴史物語2

エ クイズラリー・スタンプラリー

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
夏休みクイズラリー	菊地 萩原	7月14日～8月 26日 [38日間]	本館	694人	博物館の展示の中から出題したクイズ自然館10問、 人文館10問を出題し、それぞれに回答した参加者 に缶バッジなどの記念品を贈呈した。
みんなの理科フェスティバル スタンプラリー	山本	12月15日、16 日	文化会館 本館	201人	詳細は、2-(1)を参照。

計2件：延開催日数40日、延参加者数895人

オ おでかけ博物館

行事名	担当	開催日	開催場所	備考
第5回おでかけ博物館	内船・山本・瀬川	4月7日	文化会館	第1回横須賀ブックミュージアムにて開催
第6回おでかけ博物館	内船・山本・瀬川	4月8日	中央公園	うわまち浪漫春まつり2018にて開催
第7回おでかけ博物館	柴田・瀬川	4月20日	米海軍横須賀 基地	アースデー（環境フェア）2018にて開催
第8回おでかけ博物館	内船・山本・瀬川	7月13・14日	上町の商店街	うわまち浪漫灯ろうまつり2018にて開催

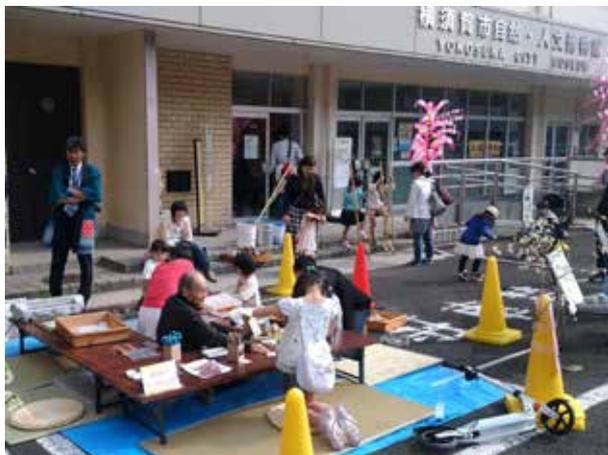
計4件：延開催日数5日



4-(3)-ウ-(イ) ナイトミュージアム



4-(3)-オ 第5回おでかけ博物館
(横須賀ブックミュージアム)



4-(3)-オ 第6回おでかけ博物館
(うわまち浪漫春まつり)



4-(3)-オ 第7回おでかけ博物館
(アースデー)

カ ヴェルニー記念館解説・上映

- (ア) スチームハンマー蒸気の実演と解説 (担当: 菊地)
国指定重要文化財スチームハンマーのシステムの理解を助けるため、1/10 模型を蒸気で稼働させて解説した。
- (イ) オリジナル映像番組を全開館日に上映 (担当: 菊地)

キ キャンペーン

対象や開催時期の共通する行事をまとめることにより、事業の効率化や広報効果の向上を図った。

(ア) 国際博物館の日記念行事

行事名	開催日	参加者数	詳細参照
文化財収蔵庫公開	5月3日～6日 [4日間]	165人	(3)-ウ-(ア)
干潟の生き物	5月13日	9人	(2)-イ-(ア)
荒崎の地層	5月19日	6人	(2)-イ-(ア)

計3件：延開催日数6日，延参加者数180人

(イ) 夏休み企画行事

行事名	開催日	参加者数	詳細参照
夏休みクイズラリー	7月14日～8月26日 [38日間]	694人	(3)-エ
子ども地球教室	7月21日	36人	(2)-エ
博物館しぜん探検	7月26日	14人	(2)-ウ
身近な植物の ずかんづくり①, ②	7月27日	51人	(2)-エ
潮だまりの生き物	7月28日	中止	(2)-イ-(ア)
博物館れきし探検	7月29日	9人	(2)-エ
夜の昆虫かんさつ①, ②	8月3日・4日	61人	(2)-イ-(ア)

(4) 主催事業④ (出版・制作)

ア 館報65号

当年度から印刷はせずに PDF データのみの制作・公開とした。8月発行。A4版38ページ。無料 (PDF データのみ)。(担当: 稲村)

ページ	項目
1	展示教育普及事業
1-19	i 主催事業
19-20	ii 共催・協力事業
20-23	iii 学校教育等指導・協力
23-27	iv 委員・団体協力等
27-29	v 博物館資料の利用
29	vi 博物館施設の利用 (調査・研究)
29-30	vii 博物館施設の利用 (団体見学を含む)
2	収集調査研究事業
30-33	i 調査・研究

33	ii 委員・指導・協力等
34-35	iii 研究発表
35	iv 執筆 (研究発表を除く)
35	v 寄贈資料
36	vi 借用資料
3	分類整理保存事業
36	i 登録資料
36	ii 文化財害虫と空中浮遊菌類のくん蒸および調査



4-(3)-オ 第8回おでかけ博物館 (うわまち浪漫 灯ろうまつり)

古代ネックレスをつくろう①～④	8月4日・5日・11日・12日	118人	(2)-エ
自分でつくる! 化石レプリカ①, ②	8月18日	124人	(2)-エ

計9件：延開催日数49日，延参加者数1,107人

(ウ) 文化ウィーク行事

行事名	開催日	参加者数	詳細参照
文化財収蔵庫公開	11月1日～4日 [4日間]	138人	(3)-ウ-(ア)
よこすかの歴史最前線	11月3日	75人	(3)-イ
つくって学ぶ! しだ・こけテラリウム	11月10日	17人	(2)-イ-(ア)

計3件：延開催日数6日，延参加者数230人

36	iii 国指定重要文化財スチームハンマーの定期保守点検・保存環境測定	37	iii 予算
		37	iv 営繕工事
		38	v 消防訓練
4 管理事業		38	vi 研修会等の実施・参加
37	i 人事		
37	ii 入館者統計		
		38	職員名簿

イ 研究報告 (自然科学) 66号

31年3月22日発行。B5版34ページ。350円。(編集委員: 萩原・柴田・内船・山本, 担当: 柴田)

ページ	著者	論題
1-9	柴田健一郎・倉持卓司・鈴木進	横須賀市観音崎に分布する鮮新統池子層の堆積環境とオヒメハマグリ科化石
11-16	鈴木茂也・天白牧夫	三浦半島におけるミソゴイの営巣密度からみた繁殖個体数の考察

17-21	内船俊樹・横須賀市保健所生活衛生課	2018年横須賀市におけるスズメバチ類のバイトラップ調査
23-28	山本 薫・鷗沢美穂子・内船俊樹	馬堀自然教育園のシダ類および蕨類
29-30	萩原清司・齋藤和久・木村喜芳	横須賀市平作で採集されたダイミョウサギ (スズキ目:クロサギ科)
31-33	内船俊樹・山本 薫	天神島臨海自然教育園の砂浜で夏季夜間に表出するハマダンゴムシの個体数変化

ウ 研究報告 (人文科学) 63号

12月25日発行. B5版64ページ. 200円. (担当:安池)

ページ	著者	論題
1-24	稲村 繁	神奈川県古墳 (IX) - 神奈川県古墳地名表 (7) -
25-56	安池尋幸	文化末年在府代官家政と手附・手代等の日常活動 - 竹垣直清「掌記」を再読する -
57-64	瀬川 涉	語りのなかの横須賀 - 森 光司氏の語り6-

エ 資料集 43号

31年3月25日発行. B5版40ページ. 400円. (担当:萩原)

ページ	著者	論題
1-40	萩原清司・永嶋省吾・三浦半島渡り鳥連絡会	横須賀市自然・人文博物館鳥類資料目録II

オ 博物館だより (自然教育園だより)

当年度から自然教育園だけでなく博物館全体の事業を紹介するフリーペーパーとして発行した. 最近の話題や特別・企画展示の見どころ, 学芸員の研究内容などをわかりやすく紹介した. 各号4ページ.

無料. (担当:内船)

号	発行日	編集	目次 (掲載ページ)
1	31年1月1日	柴田	巻頭特集: 特別展示「探検!スズメバチと身近な昆虫の世界」(1), 横須賀市の川を上るアユ (2), 古代・文字の読み書きはエリートの証し? (3), 商店街で「おでかけ博物館」を開催しました (4), カルガモの親子のお引越 越し 天神島臨海自然教育園 (4)
2	31年2月1日	内船	巻頭特集: 企画展示「初公開! 国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」(1), 「ナウマンゾウ発見」をもたらした横須賀製鉄所 (2), 野比海岸の断層ガウジ (3), オオスズメバチ模型を常設展示へ移設しました (4), 池や水路の修繕をしました 馬堀自然教育園 (4)

3	31年3月1日	萩原	巻頭特集: ご存じですか? 「みんなの理科フェスティバル」(1), シーズン到来! 磯 (いそ) 遊びに行こう! (2), 古代の琴は神を呼ぶ (3), 水槽の2種に注目! 天神島臨海自然教育園 (4), 観察路の一部通行止めを解除します! 馬堀自然教育園 (4)
---	---------	----	--

カ 特別展示解説書 15 『身近な昆虫365』

特別展示「探検! スズメバチと身近な昆虫の世界」の解説図録として発行した. 8月1日発行. A5版97ページ. 500円. (担当:内船)

ページ	項目
1	はじめに
2	もくじ
3	トビムシ目・イシノミ目・カゲロウ目
4-7	トンボ目
8-15	バッタ目
16	カワゲラ目・カマキリ目
17	ゴキブリ目
18	ナナフシ目・ハサミムシ目
19	シロアリ目・バッタ目・カマキリ目
20-32	カメムシ目
33	カメムシ目・チャタテムシ目
34-48	チョウ目
49	チョウ目・アミメカゲロウ目
50	アミメカゲロウ目・トビケラ目
51	トビケラ目・シリアゲムシ目・アザミウマ目・アミメカゲロウ目
52-74	コウチュウ目
75-79	ハエ目
80-85	ハチ目
86	この本について
87-97	さくいん

キ 『三浦半島の漁撈用具コレクション』

国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」の写真・実測図付目録のほか, 指定以後に収集された漁撈用具の一部を掲載した. 31年3月18日発行. A4版317ページ. 2,000円. (担当:瀬川)

ク その他

(ア) 缶バッジ

販売や記念品として使用する, 博物館オリジナルデザイン缶バッジを制作した. 6月制作. 直径32mm. 12種類 (販売用7種類 [各50円]: ナウマンゾウ①, ナウマンゾウ②, 博物館ロゴ等, 駆逐艦「萩風」, アオウミウシ, 天神島マスコットキャラ, ハマオモトとアオスジアゲハ, 記念品用5種類: シロウミウシ, 特別展示「オオスズメバチ」, スチームハンマー, 弾琴埴輪男子像, オオシマザクラ). (担当:内船・山本)

(5) 共催・協力事業**ア 横須賀市・同市教育委員会等主催****(ア) 横須賀しぜん散歩**

5月26日, 横須賀市阿部倉. 横須賀市環境政策部自然環境共生課との共催. 横須賀しょうぶ園から平作川上流を歩き, 初夏の植物や昆虫を観察した. (担当: 内船・山本)

(イ) 自然環境講演会

12月15日, 講座室. 横須賀市環境政策部自然環境共生課との共催. 「海の研究からわかる自然環境」をテーマに, 海洋研究開発機構の研究員を講師に迎えた. (担当: 内船)

(ウ) 『まなび猫調査隊』検討会議

9月～31年3月, 31年1月からFMブルー湘南にて放送を開始した横須賀市の社会教育施設のPR番組『まなび猫調査隊』に関する検討会議に参加, 収録の調整. 横須賀市障害学習課主催. (担当: 山本・瀬川)

イ 市内団体・機関等**(ア) うわまち浪漫 春まつり**

4月8日, 中央公園. 上町商店街連合会・横須賀市文化会館との共催. 中央公園を主な会場として出店やステージを実施した. 博物館前で第6回おでかけ博物館を実施. 前年度の3月26日から4月7日まで実施のスタンプラリーにも協力. (担当: 内船・山本・瀬川)

(イ) 横須賀ブックミュージアム

4月7日, 文化会館. 横須賀ブックミュージアム実行委員会主催(協力). 書籍・標本・飲食など本と博物に関する出店を実施. 会場にて第5回おでかけ博物館を実施. (担当: 内船・山本・瀬川)

(ウ) アースデー (環境フェア)

4月20日, 米海軍横須賀基地内NEX赤レンガ広場. 在日米海軍横須賀基地主催. 三浦半島の動植物, 岩石・化石資料, 米国産化石資料, 民俗学資料を米海軍横須賀基地内の特設テントに展示し, 基地内の住民等に三浦半島の自然と歴史について紹介した. 会場にて第7回おでかけ博物館を実施. (担当: 柴田・瀬川)

(エ) 万代テラコヤ

7月2日・31年1月26日. 横須賀市津久井(万代会館). 協力. 万代テラコヤ実行委員会主催. 植物・民俗などのワークショップを実施. (担当: 山本)

(オ) うわまち浪漫 灯ろうまつり

7月13日・14日, 横須賀市上町. 横須賀市文化会館とともに共催. 上町商店街連合会主催. 商店街に夕方から灯ろうを点灯し各種イベントを開催. 会場にて第8回おでかけ博物館を実施. (担当: 内船・山本・瀬川)

(カ) うわまちハロウィンフェスティバル

10月27日, 横須賀市上町. 共催. 上町商店街連合会主催. 同日主催事業として開催した「ナイトミュージアム」(4-(4)-ウ)を通じたイベント広報活動を実施. (担当: 内船)

(キ) ヨコスカ ECO フェスティバル

12月8日, 横須賀市文化会館・中央公園. 横須賀市教育委員会共催. ヨコスカマナナビ主催. 環境問題に関する出店・出展・ワークショップを実施. スタンプラリーに協力. (担当: 内船)

ウ 市外団体・機関等**(ア) 中高生サイエンスキャリアプログラム**

神奈川県立青少年センター主催. 馬堀自然教育園において動植物を観察し, 園内の植物を用いた押し花しおりとミニテラリウムを作製した. また, 園内の池に生息するアメリカザリガニの駆除を行った. (担当: 山本・内船)

(イ) 県立博物館特別展示

7月14日～11月4日, 神奈川県立生命の星・地球博物館 平成30年度特別展示「植物誌をつくらう!～『神奈川県植物誌2018』のできるまでとこれから～」. 協力. (担当: 山本)

(ウ) 中高生サイエンスサマー

7月31日, 講座室. 横須賀市教育委員会共催. 総合研究大学院大学主催. 総合研究大学院大学 稲邑哲也准教授による「バーチャルリアリティを使って育てるロボットの社会的知能」の講演. (担当: 内船)

(エ) 子どもサイエンスフェスティバル横須賀大会

12月15日, 文化会館. 横須賀市教育委員会後援. 子どもサイエンスフェスティバル実行委員会主催. 同日同施設で開催した「みんなの理科フェスティバル」と相互にPRを行った. (担当: 内船)

(6) 学校教育指導・対応**ア 研究指導**

(ア) スーパーサイエンスハイスクール (SSH) (テーマ・担当は下記), 年間, 校内・本館ほか. 神奈川県立横須賀高等学校 1 学年 (プリンキピア I)

テーマ	生徒数	担当
魚の骨について知ろう!	5 人	萩原
足跡化石の解析: 過去の動物の歩行速度を見積もろう!	5 人	柴田
教育施設利用実績のより効果的な数値化に向けた調査	5 人	内船
天神島のハマダンゴムシの生態調査	5 人	内船 山本

イ 授業・講義

(ア) 中学校 1 年総合的な学習「三浦半島の自然」, 5 月 10 日, 校内. 横須賀市立久里浜中学校 (担当: 萩原)

(イ) 小学校 6 年社会科「大昔の暮らし」, 対象 5 校・授業日は下記, 利用資料は 6- (3) に別記, 本館. (担当: 稲村)

横須賀市立大矢部小学校 4 月 19 日

横須賀市立浦賀小学校 5 月 2 日

横須賀市立鶴久保小学校 5 月 17 日

横須賀市立沢山小学校 5 月 22 日

横須賀市立山崎小学校 6 月 1 日

(ウ) 小学校 5 年総合的な学習「身近な自然」, 9 月 13 日, 天神島臨海自然教育園. 横須賀市立大楠小学校 (担当: 萩原)

(エ) 小学校 3 年社会科「昔の道具と暮らし」, 対象 36 校・授業日は下記, 利用資料は 6- (3) に別記, 本館. (担当: 瀬川)

三浦市立岬陽小学校 10 月 10 日

横須賀市立野比小学校 10 月 26 日

横須賀市立浦賀小学校 31 年 1 月 16 日

横須賀市立望洋小学校 31 年 1 月 22 日

横須賀市立豊島小学校 31 年 1 月 22 日

横須賀市立大津小学校 31 年 1 月 24 日

横須賀市立根岸小学校 31 年 1 月 29 日

横須賀市立諏訪小学校 31 年 1 月 31 日

横須賀市立鶴久保小学校 31 年 1 月 31 日

横須賀市立夏島小学校 31 年 2 月 1 日

横須賀市立長浦小学校 31 年 2 月 1 日

横須賀市立浦郷小学校 31 年 2 月 5 日

横須賀市立大塚台小学校 31 年 2 月 6 日

横須賀市立栗田小学校 31 年 2 月 6 日

横須賀市立明浜小学校 31 年 2 月 7 日

横須賀市立公郷小学校 31 年 2 月 8 日

横須賀市立鷹取小学校 31 年 2 月 8 日

横須賀市立山崎小学校 31 年 2 月 13 日

横須賀市立小原台小学校 31 年 2 月 14 日

三浦市立南下浦小学校 31 年 2 月 14 日

横須賀市立津久井小学校 31 年 2 月 15 日

横須賀市立追浜小学校 31 年 2 月 19 日

私立横須賀学院小学校 31 年 2 月 19 日

横須賀市立船越小学校 31 年 2 月 20 日

横須賀市立桜小学校 31 年 2 月 20 日

横須賀市立沢山小学校 31 年 2 月 21 日

横須賀市立田浦小学校 31 年 2 月 22 日

横須賀市立鴨居小学校 31 年 2 月 26 日

三浦市立上宮田小学校 31 年 2 月 26 日

横須賀市立野比東小学校 31 年 2 月 28 日

横須賀市立武山小学校 31 年 3 月 1 日

横須賀市立神明小学校 31 年 3 月 5 日

横須賀市立走水小学校 31 年 3 月 6 日

横須賀市立田戸小学校 31 年 3 月 7 日

横須賀市立馬堀小学校 31 年 3 月 7 日

横須賀市立衣笠小学校 31 年 3 月 8 日

(オ) 小学校 5 年総合的な学習「万代会館の樹木」, 10 月 30 日, 万代会館. 横須賀市津久井小学校 (担当: 山本)

(カ) 小学校 6 年「土地のつくりと変化 (地層の観察)」, 11 月 22 日, 横須賀市三春町. 大津小学校 (担当: 柴田)

(キ) 小学校 6 年「土地のつくりと変化」, 11 月 27 日, 校内. 大塚台小学校 (担当: 柴田)

(ク) 小学校 3 年「鷹取山について」, 12 月 4 日, 校内. 鷹取小学校 (担当: 柴田)

(ケ) 大学非常勤講師「博物館資料保存論」, 4 月～7 月, 神奈川大学・本館・天神島臨海自然教育園. 神奈川大学 (担当: 柴田)

(コ) 大学非常勤講師「博物館教育論」, 9 月～31 年 1 月, 神奈川大学・本館・平塚市博物館ほか. 神奈川大学 (担当: 内船)

ウ 見学・相談・質問対応

(ア) 協力. 卒業研究 (神奈川大学理学部生物学科 4 年 2 人), 年間, 神奈川大学・三浦半島ほか (担当: 山本)

(イ) 協力. 卒業研究 (首都大学東京都市教養学部生命科学コース 4 年 1 人), 年間, 三浦半島ほか (担当: 山本)

(ウ) 見学. 横須賀市立森崎小学校 4 年, 4 月 26 日, 本館 (担当: 萩原)

(エ) 見学. 神奈川大学, 5 月 26 日, 本館 (担当: 柴田)

(オ) 見学. 田園調布雙葉学園小学校 6 年, 5 月 31 日,

本館（担当：柴田）

- (カ) 見学. 公郷中学校2年総合的学習, 6月5日, ヴェルニー記念館. (担当: 菊地)
- (キ) 見学. 公郷中学校, 6月5日, 馬堀自然教育園 (担当: 山本)
- (ク) 相談. 私立海城中学校, 6月10日, 本館 (担当: 安池)
- (ケ) 見学. 神奈川大学, 6月23日, 天神島臨海自然教育園 (担当: 柴田)
- (コ) 見学. 武蔵高校, 8月2日, 本館 (担当: 柴田)
- (サ) 見学. 三浦市名向小学校4年, 10月5日, 本館 (担当: 萩原)
- (シ) 見学. 神奈川大学学芸員課程, 11月4日, 本館 (担当: 瀬川)
- (ス) 見学. 日本大学生物資源学部博物館見学実習, 11月4日, 本館・天神島臨海自然教育園 (担当: 萩原)
- (セ) 見学. 帝京平成大学, 12月8日, 本館・馬堀自然教育園 (担当: 柴田・山本)
- (ソ) 見学. 横浜薬科大学, 31年2月5日, 本館 (担当: 柴田)

(7) 学校教育以外の指導・対応

ア 委員等

- (ア) 委員. 近代歴史遺産活用事業推進協議会. 横須賀市文化振興課, 年間 (担当: 永嶋・菊地)
- (イ) 専門委員. 横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討会. 横浜市教育委員会, 年間 (担当: 萩原)
- (ウ) 委員. 環境教育・環境学習ネットワーク会議. 横須賀市環境政策部, 年間 (担当: 内船)
- (エ) 委員. 小網代の森環境整備・管理計画改定専門部会. 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部みどり課, 年間 (担当: 山本)
- (オ) 委員. 小網代の森保全活用対策協議会. 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課, 年間 (担当: 山本)
- (カ) 委員. 神奈川県レッドリスト選定・評価委員会 植物・菌類部会. 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課, 年間 (担当: 山本)
- (キ) 顧問. 逗子市池子の森運営会議. 逗子市緑政課, 10月20日・31年3月27日 (担当: 内船)
- (ク) 機能研究部会幹事・協会報編集委員. 神奈川県博物館協会. 神奈川県博物館協会, 年間 (担当: 瀬川)
- (ケ) 委員. 国指定史跡長柄桜山古墳群史跡整備検討会. 逗子市・葉山町教育委員会, 年間 (担当: 稲村)

イ 指導・講師

エ 職場体験等指導

- (ア) 中学校職場体験, 5月23日～24日, 本館. 横須賀市立岩戸中学校2年, 1人 (担当: 萩原・柴田・内船・山本)
- (イ) インターン, 8月10日・9月14日～15日, 本館・天神島臨海自然教育園・馬堀自然教育園. 横浜国立大学大学院生1人 (担当: 萩原・柴田・内船・山本)
- (ウ) 中学校職場体験, 11月14日～15日, 本館. 横須賀市立浦賀中学校2年1人 (担当: 萩原・柴田・内船・山本)

オ 博物館実習

- (ア) 8月14日～24日 (10日間), 13人. 本館・馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・ヴェルニー記念館. 実習生所属大学等: 大正大学・桜美林大学・国土館大学・首都大学東京・日本大学・立正大学・鶴見大学・成城大学・関東学院大学・帯広畜産大学・東京学芸大学・八州学園大学. 指導: 菊地・萩原・柴田・内船・山本・瀬川・安池・稲村. 担当: 内船

- (ア) 運営指導. 三浦半島昆虫研究会, 年間 (担当: 内船)
- (イ) 協力. 好古会, 年間 (担当: 稲村)
- (ウ) 講師「横須賀はなぜ基地のまちになったのか? 横須賀製鉄所からの歴史」(産業の先進地・横須賀130年の歴史を学ぶ). 市民グループ主催研修会, 4月13日, 産業交流プラザ (担当: 菊地)
- (エ) 講師「神奈川の考古学」. 好古会主催, 4月13日・6月8日・7月13日・8月3日・1月11日・2月8日, 本館 (担当: 稲村)
- (オ) 講師「地層から読み解く太古の川の大きさや流量」. 三浦半島活断層調査会主催, 4月15日, 文化会館 (担当: 柴田)
- (カ) 講師「カイコの飼育について」(理科基礎技術研修講座). 横須賀市教育研究所主催, 5月11日, 教育研究所 (担当: 内船)
- (キ) 講師「大楠山でおこなう植物観察会」. おおくすエコミュージアムの会主催, 5月12日, 大楠山 (担当: 山本)
- (ク) 講師「城ヶ島の植物」. 三浦市都市環境部環境課主催, 5月20日, 城ヶ島 (担当: 山本)
- (ケ) 講師「横須賀しぜん散歩」. 横須賀市自然環境共生課との共催, 5月26日, 横須賀市阿部倉 (担当: 内船・山本)

- (コ) 講師「地層から過去の河川の大きさや流量を復元する」. 神奈川地学会主催, 5月27日, 本館(担当:柴田)
- (サ) 指導. 伐採樹木調査. 横須賀市生涯学習課, 5月30日, 猿島(担当:山本)
- (シ) 講師「シダ類のガイド」. 東京都檜原村管理事務所主催, 6月3日, 東京都檜原都民の森(担当:山本)
- (ス) 講師「校庭の植物観察」(理科基礎技術研修講座). 横須賀市教育研究所, 6月8日, 公郷小学校(担当:山本)
- (セ) 講師「荒崎周辺の地質」. 横須賀シティガイド協会主催, 6月12日, 長浜〜荒崎(担当:柴田)
- (ソ) 講師「磯の自然観察会」. 神奈川県立生田高校, 6月17日, 天神島臨海自然教育園(担当:萩原)
- (タ) 講師「調べて伝える横須賀の自然(昆虫・植物)ーデジカメで調べる身近な虫と花ー」(市民大学). 横須賀市生涯学習財団主催, 7月〜10月(8回), まなびかん・観音崎公園・光の丘水辺公園(担当:内船・山本)
- (チ) 講師「植物さんぽと押し花のしおり作り」. 万代テラコヤ実行委員会主催, 7月2日, 万代会館(担当:山本)
- (ツ) 講師. 横須賀市立大楠小学校教員研修, 7月31日, 天神島臨海自然教育園(担当:萩原)
- (テ) 講師「ワクワクムシたんけん」. 横須賀市立児童図書館, 8月1日, 児童図書館(担当:内船)
- (ト) 講師「馬堀自然教育園で学ぶ三浦半島の自然」(中高生サイエンスキャリアプログラム). 神奈川県青少年センター主催, 8月8日, 馬堀自然教育園(担当:山本・内船)
- (ナ) 講師. 「相模湾の磯の生物観察」(理科基礎技術研修講座). 横須賀市教育研究所主催, 8月8日, 天神島臨海自然教育園(担当:萩原)
- (ニ) 講師「環境学習講座」. (財)国際生態学センター主催, 8月18日, 天神島臨海自然教育園(担当:山本)
- (ヌ) 講師「田越川の生き物観察会」. ずしし環境会議・緑とまちなみ部会主催, 8月26日, 逗子市田越川(担当:萩原)
- (ネ) 講師「横須賀市の花『ハマオモト』」(映像とお話), 図書館16ミリ試写室主催, 9月12日, 横須賀市中央図書館(担当:山本)
- (ノ) 講師「猿島の昆虫等」(猿島ガイド協会研修会). 猿島ガイド協会主催, 9月15日, 猿島(担当:内船)
- (ハ) 講師「西地区の昔話をあろう!」. 横須賀市西コミュニティセンター主催, 10月3日, 西コミュニティセンター(担当:瀬川)
- (ヒ) 講師. 「横須賀巡見」. 埼玉地質協会主催, 10月5日, 横須賀・三浦市域(担当:菊地)
- (フ) 講師. 講演会. 公郷町町内会主催, 10月6日, 公郷町内会館(担当:菊地)
- (ヘ) 講師「猿島へ行ってみよう(植物)」(猿島ガイド5期生研修), 横須賀市公園管理課主催, 10月6日, 猿島(担当:山本)
- (ホ) 講師「虫にまつわるアブない話ースズメバチから身近な昆虫までー」(おはなし会). 横須賀市立中央図書館主催, 10月20日, 中央図書館(担当:内船)
- (マ) 講師「植生調査研修」. (財)国際生態学センター主催, 10月28日, 天神島臨海自然教育園(担当:山本)
- (ミ) 指導. 鯖江市公民館, 10月30日, 本館(担当:安池)
- (ム) 講師「自然観察会〜観音崎で見られる地層〜」(理科基礎技術研修講座). 横須賀市教育研究所主催, 11月2日, 県立観音崎公園(担当:柴田)
- (メ) 講師「猿島の地層」. 猿島公園専門ガイド協会主催, 11月3日, 猿島(担当:柴田)
- (モ) 講師. 猿島公園専門ガイド協会主催, 11月3日, 猿島(担当:萩原)
- (ヤ) 講師「よこすか『民俗芸能』紀行」. 横須賀市久里浜コミュニティセンター, 11月6日(担当:瀬川)
- (コ) 講師「昆虫たちとエネルギー」(チアーズ野外学習). イオン久里浜店主催, 11月11日, 本館(担当:内船)
- (ク) 指導「関根川水質調査」. 横須賀市域水質保全協議会主催, 11月15日, 関根川(担当:萩原)
- (ク) 指導. 稀少種保全方法(横須賀市広域処理施設), 11月22日・1月9日・2月12日・26日, 本館(担当:山本)
- (リ) 講師「展示解説と横須賀市自然・人文博物館の教育普及活動について」(神奈川県社会教育委員研修会). 神奈川県教育委員会主催, 11月30日, 本館(担当:内船)
- (ル) 講師. 南関東防衛局主催セミナー, 12月18日, 南関東防衛局(担当:安池)
- (レ) 指導. 景観樹木調査(横須賀市まちなみ景観課). 31年1月11日, 長浦小学校(担当:山本)
- (ロ) 講師「横須賀の植物とカードとテラリウム作り」, 横須賀市北下浦コミュニティセンター主催, 31年1月16日・23日, 北下浦コミュニティセンター(担当:山本)
- (ワ) 講師「考古学から見た古代の三浦半島」. NPO法人よこすかシティガイド協会主催, 31年1月22日, 本館(担当:稲村)
- (ヲ) 講師. 研修会. 退職公務員連盟主催, 31年1月26日, 本館(担当:菊地)
- (ン) 講師「テラリウム作り」. 万代テラコヤ実行委員会主催, 31年1月26日, 万代会館(担当:山本)
- (ア) 講師「昔の道具 展示解説」. 万代テラコヤ実行委

員会主催, 31年1月26日, 万代会館(担当: 瀬川)

(b) 講師. 郵政省郵政博物館主催セミナー, 31年1月27日, 郵政博物館(担当: 安池)

(c) セミナー講師. YRP 主催, 31年2月15日, YRP(担当: 安池)

ウ 見学等対応

(ア) 解説. シニアネット横須賀, 4月19日, 馬堀自然教育園(担当: 山本)

(イ) 研究相談, 5月4日, 本館.(担当: 菊地)

(ウ) 見学対応. バスツアー団体見学会(※ツアーは全て中止), 5月10日・11日13日15日, 本館(担当: 全員)

(エ) 展示解説. 東京理科大学OB会「理窓会」, 5月12日, 本館(担当: 萩原)

(オ) 解説. 産業技術史学会見学会, 6月16日, 本館・ヴェルニー記念館(担当: 菊地)

(カ) 展示解説. 大津コミュニティセンター, 6月19日, 本館(担当: 萩原)

(キ) 展示解説. 横浜共立学苑OG会, 6月23日, 本館(担当: 萩原)

(ク) 解説. 7月1日, 本館(担当: 瀬川・菊地)

(ケ) 展示解説. 横須賀市職員2年次研修第15班, 7月4日, 本館(担当: 萩原)

(コ) 展示解説. 国際文化学会, 7月6日, 本館.(担当: 安池)

(サ) 展示解説. 県立歴史博物館ボランティアガイド, 7月10日, 本館(担当: 菊地)

(シ) 解説. 国際交流課・ブレスト市一行, 7月10日, 本館(担当: 菊地)

(ス) 解説. 一般市民団体, 7月16日, 天神島臨海自然

教育園(担当: 萩原)

(セ) 展示解説. 静岡商工会議所見学対応, 8月3日, 本館(担当: 萩原)

(ソ) 展示解説. 横須賀シティガイド協会, 8月7日, 本館(担当: 菊地)

(タ) 展示解説「深海から生まれた三浦半島」. 新宿区教育センター, 8月21日, 本館(担当: 柴田)

(チ) 展示解説. シティガイド協会研修会, 9月11日, 本館(担当: 萩原)

(ツ) 解説. 日仏会館会員一行, 9月28日, ヴェルニー記念館(担当: 菊地).

(テ) 指導. フランス・ブレスト市派遣職員, 10月10日, 本館.(担当: 菊地)

(ト) 展示解説. 秩父市教育委員, 10月26日, 本館.(担当: 安池)

(ナ) 展示解説. 横須賀市教育委員, 10月26日, 本館.(担当: 安池)

(ニ) 展示解説. 麻布科学実験教室, 11月11日, 本館(担当: 山本)

(ヌ) 展示解説. 横浜国立大学教育学部理科教育講座植物科学研究室, 11月11日, 本館(担当: 山本)

(ネ) 展示解説. 神奈川県社会教育委員研修会, 11月30日, 本館.(担当: 内船)

(ノ) 解説「三浦半島の地球科学」. 神奈川県私立中学高等学校協会理科研修会, 12月12日, 本館(担当: 柴田)

(ハ) 展示解説. 横須賀市長・横須賀市議会議員一行, 12月13日, 本館(担当: 菊地)

(ヒ) 展示解説. 三浦半島文化財担当者会, 31年2月6日, 本館(担当: 菊地)

(8) 報道発表・取材等協力

ア 報道発表

日付	表題	発信元	担当
31年1月11日	有翅昆虫類の系統樹の構築 ～身近なバッタ、カマキリなどからなる多新翅類の祖先型を復元～	筑波大学、横須賀市自然・人文博物館	内船

イ 取材対応

対応内容もしくは番組・記事表題（放映・掲載日）	メディア	取材等対応日	担当
博物館事業の紹介。「遊びにきませんかスタジオへ」(4月6日)	FM ブルー湘南	4月6日	山本
三浦半島の地層について、『散歩の達人6月号』(5月21日)	交通新聞社	4月29日	柴田
ミュージアムトークについて	J:COM	5月6日	柴田
天神島臨海自然教育園の紹介、『湘南スタイル』	湘南スタイル	5月28日	萩原
天神島臨海自然教育園の紹介。「ふらりわが街大人の散歩」	週刊文春	6月20日、7月1日	萩原
特別展示を担当学芸員として紹介「よこすかホットナビ」(8月)	J:COM	8月1日	内船
博物館の見どころ紹介	FM マリンパル	8月3日	萩原
特別展示について(8月28日)	神奈川新聞	8月21日	内船
特別展示の紹介。「遊びにきませんかスタジオへ」(8月23日)	FM ブルー湘南	8月23日	内船
特別展示について(8月27日)	毎日新聞	8月25日	内船
特別展示について	タウンニュース	9月11日	内船
横須賀市長井に飛来したコウノトリについて	読売新聞	9月20日	萩原
猫のひたいほどワイド(9月)	テレビ神奈川	9月22日・24日	内船
企画展示について	東京新聞	12月4日	菊地
企画展示について	読売新聞	12月4日	菊地
博物館事業の紹介。「遊びにきませんかスタジオへ」(12月6日)	FM ブルー湘南	12月6日	内船
企画展示について	タウンニュース	12月7日	菊地
企画展示と学芸員紹介について	はまかせ新聞	12月7日	菊地
みんなの理科フェスティバルについて	神奈川新聞	12月15日	内船
企画展示について	神奈川新聞	12月27日	菊地
ダンゴウオおよび天神島臨海自然教育園の撮影協力。「なりきり! むーにゃん生きもの学園」(2月16日)	NHK エデュケーショナル	12月11日・1月13日・14日	萩原
博物館の紹介。「まなび猫調査隊」(1月17日)	FM ブルー湘南		山本
博物館の漁労用具の紹介。「まなび猫調査隊」(2月14日)	FM ブルー湘南		山本・瀬川
市町記者会見「東京駅工事写真発見」に関する囲み取材	横須賀市記者クラブ	31年3月5日	菊地
企画展示の紹介。「まなび猫調査隊」(3月14日)	FM ブルー湘南		菊地

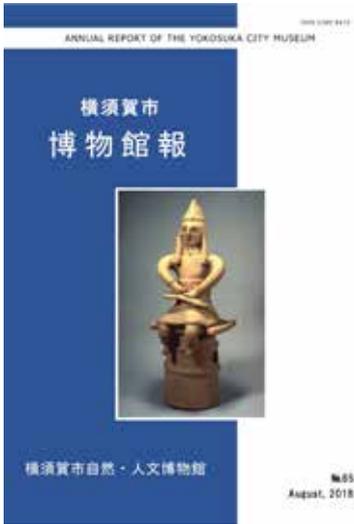
ウ 質問・鑑定等対応

対応内容もしくは番組・記事表題（放映・掲載日）	メディア	取材等対応日	担当
横須賀ブックミュージアムにおける博物館の協力内容について	神奈川新聞	4月3日	内船
横須賀市内の銭湯について	タウンニュース	4月6日	瀬川
文化財収蔵庫公開について(4月27日)	読売新聞	4月17日	菊地
「所さんの学校では教えないこと」番組企画に関する相談	株式会社リベラス(テレビ東京)	5月17日	菊地
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定のトンボ類の同定	NHK	5月31日	内船
軍艦清輝の画像のテレビ放映と番組内容の専門的事項の確認	TBS	6月11日	菊地
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定のイトミミズの生態に関する質問	NHK	6月14日	内船
「ダーウィンが来た!」で天神島臨海自然教育園のロケに関する問合せ	NHK	6月20日	萩原
「ダーウィンが来た!」で放送予定のパプアニューギニアのホテルに関する質問	NHK	6月20日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の石川県能登町の昆虫類の同定	NHK	6月22日、26日、7月20日、9月6日	内船
「さわやか自然百景」で放映予定の山形県飛鳥のメバル類の同定	NHK	7月6日	萩原
「ダーウィンが来た!」で放映予定のアマゾン川流域の淡水魚の名称について質問	NHK	7月7日	萩原
『ソラタネ』記事におけるヴェルニー記念館取材・撮影について	ソラシドエア	7月9日	菊地
「さわやか自然百景」で放映予定の北海道の魚類の同定	NHK	7月11日	萩原
「首都圏ネットワーク」における天神島臨海自然教育園のハマオモトの撮影について相談	NHK	7月11日	萩原

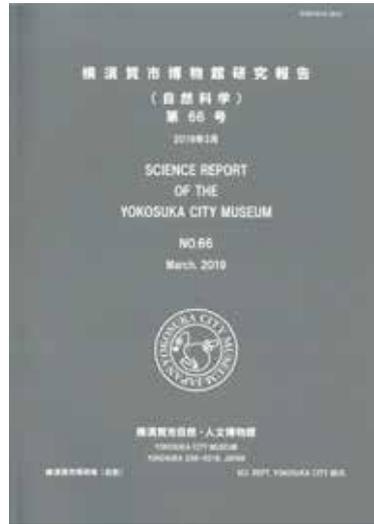
「土井善晴の美食探訪」で紹介する天神島臨海自然教育園の撮影について	テレビクリエイションジャパン (BS 朝日)	7月18日	萩原
横須賀版「iバザール」掲載予定の「自分でつくる!化石レプリカ」の案内記事について確認 (7月31日)	神奈川新聞	7月24日	柴田
「旅するお疲れ様」で紹介予定のヴェルニー記念館取材・撮影について	制作会社オブザアイ (テレビ東京)	7月24日	菊地
『FLASH』における「プラタモリ」過去放送回の案内人への取材企画について	光文社	7月31日	菊地
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の熊本県のサワガニ・イモリの同定	ウルトラマリン (NHK)	8月1日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の熊本県のトンボ類の同定	ウルトラマリン (NHK)	8月3日	内船
YouTube で動画配信予定のダイバーに群がる小魚の映像についてコメント	投稿! DO 画くん (YouTube)	8月28日	萩原
「さわやか自然百景」で放映予定の男女群島の魚類の同定	NHK	8月31日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の東北のハナムグリと鳥取県のゲンゴロウの同定	NHK	9月14日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の千葉県佐倉市の住宅街の昆虫類の同定	NHK	9月21日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放映予定の広島県北広島町のトンボ類の同定	NHK	10月4日	内船
ナイトミュージアムについて	神奈川新聞	10月12日	内船
「さわやか自然百景」で放映予定の岐阜県長良川の魚類の同定	NHK	10月13日	萩原
ナイトミュージアムについて	タウンニュース	10月17日	内船
「さわやか自然百景」で放映予定のエビ類の同定 (専門家を紹介)	NHK	10月18日	萩原
「さわやか自然百景」で放映予定の南アルプスの昆虫類の同定と分布域に関する議論	テレコムスタッフ (NHK)	11月2日, 8日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で取り上げた静岡県川根本町の茶畑の昆虫類の同定	アートビーズ株式会社 (NHK)	11月7日, 9日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の長崎県壱岐と秋田県男鹿の魚類等の同定	アズマックス (NHK)	11月22日・23日	萩原
「さわやか自然百景」で放映予定の石垣島のマングローブで撮影された魚類の同定	株式会社ウインク (NHK)	11月23日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の千葉県いすみ市の昆虫類の同定	株式会社ベック (NHK)	11月30日	内船
「ぎふスペシャル」で放映予定の長良川の魚類の同定とアユの雌雄判別	NHK 岐阜放送局	12月1日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の千葉県いすみ市の水生動物の同定	株式会社ベック (NHK)	12月1日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の岡山県瀬戸内海沿岸のアマモ場の生物の同定	NHK	12月4日	萩原
BS プレミアム「ザ・グレートネイチャー」で放送予定のメコン川の魚類の同定	アズマックス (NHK)	12月7日	萩原
「さわやか自然百景新春特集」(31年1月2日)で放映予定の沖縄と奄美大島のサンゴ礁魚類の同定	株式会社千代田ラフト (NHK)	12月12日	萩原
茅ヶ崎市のトンボ類の同定	ゼロ・プロジェクト (NHK BS プレミアム)	12月18日	内船
『レトロ町さんば旅』でのヴェルニー記念館の紹介記事と展示撮影について	びあ株式会社	12月19日・2月4日	菊地
ヴェルニー記念館スチームハンマーの稼働動画の撮影と個人サイトへの掲載	小林優人 (個人サイト)	12月23日	菊地
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の富山湾の魚類とホヤの同定	アズマックス (NHK)	31年1月9日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の宮崎県高千穂の魚類と貝類の同定	エルスプラン (NHK)	31年1月11日	萩原
1月11日報道発表の論文の内容について	共同通信社	31年1月11日	内船
石垣島のホテル等昆虫類の同定	NHK BS プレミアム	31年1月17日	内船
『広報誌 HOKEN』へのヴェルニー記念館・本館の取材・写真撮影	トッパングループ健康保険組合	31年1月18日	菊地
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の熊本県球磨川の魚類の同定	アートビーズ株式会社 (NHK)	31年1月24日	萩原
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の佐賀県唐津市の棚田周辺および東京都青ヶ島の昆虫類の同定	有限会社ゼロ・プロジェクト (NHK)	31年1月26日	内船
BS プレミアム「ニッポンの里山」で放送予定の佐賀県唐津市の棚田周辺の両生類・甲殻類・貝類の同定	有限会社ゼロ・プロジェクト (NHK)	31年1月27日・29日・30日・31日	萩原
BS プレミアム「ワイルドライフ」で放送予定の北海道知床の魚類の同定	株式会社千代田ラフト (NHK)	31年2月1日	萩原
ヴェルニー記念館の紹介と展示写真の掲載. インターネットメディア「ネトラボ」	アイティメディア株式会社	31年2月14日	菊地
ヴェルニー記念館内の写真撮影 (主にスチームハンマー) と掲載. 広報誌『Value One』	株式会社メタルワン	31年2月14日	菊地

ヤマキマダラヒカゲの同定確認	ヴィジュアルフォークロア (NHK BS プレミアム)	31年2月20日	内船
「おしえて学芸員さん」の打合せ	はまかせ新聞	31年2月21日	菊地 山本
「ミミクリーズ」で放映予定の城ヶ島で撮影されたハゼ類の同定と生態について質問	株式会社元 (NHK E テレ)	31年3月12日	萩原
「なりきり! むーにゃん生きもの学園」ロケで天神島臨海自然教育園を利用することについて打合せ	株式会社全カカンパニー	31年3月15日	萩原
「すいエンサー」で放映予定のカエルアンコウに関する質問	株式会社ホールマン	31年3月15日・16日・ 19日・27日	萩原
日立製作所広報誌「はいたっく」内『日本の源流再発見』掲載用にヴェルニー記念館を撮影することについて	株式会社日立ドキュメントソリューション	31年3月19日	菊地
ミツバチの同定	NHK	31年3月23日	内船
小田原のクモ類とバッタ類の同定	テレコムスタッフ株式会社 (NHK)	31年3月26日	内船
「アースキャナー」で放映予定のインド東部ロクタク湖の魚類の同定	アズマックス	31年3月27日	萩原

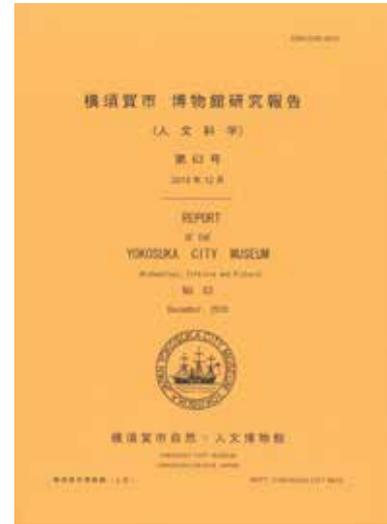
《出版物表紙》



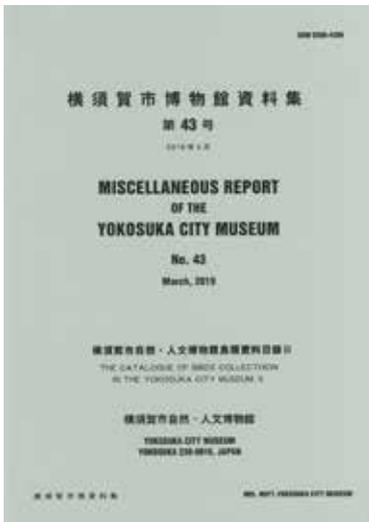
館報 65号 (※ PDFのみ発行)



研究報告 (自然科学) 66号



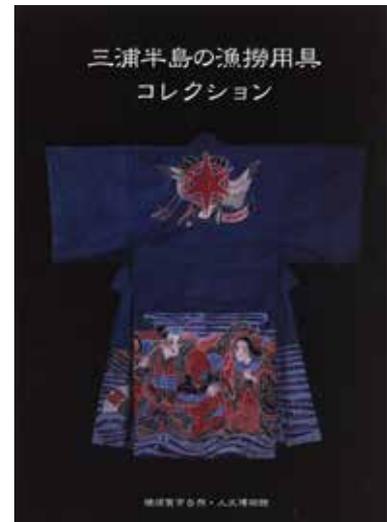
研究報告 (人文科学) 63号



資料集 43号



特別展示解説書 15
『身近な昆虫 365』



『三浦半島の漁撈用具コレクション』

5 収集調査研究事業

(1) 調査・研究

ア 調査・研究テーマ

- (ア) 三浦半島の地質調査, 年間, 三浦半島 (担当: 柴田)
- (イ) 「足跡化石コレクションの構築と児童生徒が創造的, 探究的に学習できる展示の開発」科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP17K12968), 年間 (担当: 柴田)
- (ウ) 三浦半島淡水生物調査, 年間, 三浦半島 (担当: 萩原)
- (エ) 三浦半島沿岸生物調査, 年間, 三浦半島 (担当: 萩原)
- (オ) 三浦半島昆虫相調査, 年間, 三浦半島 (担当: 内船)
- (カ) 昆虫比較発生研究, 年間 (担当: 内船)
- (キ) 横須賀市スズメバチトラップ調査, 4月～12月, 横須賀しょうぶ園ほか. 横須賀市保健所生活衛生課と共同 (担当: 内船)
- (ク) 三浦半島植物相調査, 年間, 三浦半島内 (担当: 山本)
- (ケ) 神奈川県内植物相調査, 年間, 神奈川県内 (担当: 山本)
- (コ) 伊豆大島植物調査, 7～8月, 伊豆大島 (担当: 山本)

- (サ) 野比かがみ田谷戸モデル事業調査, 年間, 横須賀市自然環境共生課と共同 (担当: 萩原・内船・山本)
- (シ) 三浦半島の古墳調査, 年間, 三浦半島 (担当: 稲村)
- (ス) 古墳調査, 年間, 関東地方 (担当: 稲村)
- (セ) 近代建築史・土木史研究, 年間, 関東 (担当: 菊地)
- (ソ) 「横須賀製鉄所における中国経由でのフランス系建築技術と様式の導入に関する研究」科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP18K04552), 年間 (担当: 菊地)
- (タ) 三浦半島の民俗調査, 年間, 三浦半島 (担当: 瀬川)
- (チ) 資料調査, 年間, 関東 (担当: 瀬川)
- (ツ) 祭礼調査, 年間, 関東 (担当: 瀬川)
- (テ) 年中行事調査, 年間, 関東 (担当: 瀬川)
- (ト) 三浦半島の文献史調査, 年間 (担当: 安池)

イ 調査出張等

日付	調査地 (出張者)	参照
4月6日	野毛山動物園 (柴田)	ア-(イ)
4月14日	横浜市 (瀬川)	ア-(チ)
4月19日	相模原市立博物館 (瀬川)	ア-(チ)
4月24日	横須賀市長浦町個人宅 (菊地)	ア-(セ)
4月29日	観音埼 (柴田)	ア-(ア)
5月16日	神奈川県立生命の星・地球博物館 (柴田)	ア-(ア)
5月17日	米海軍横須賀基地 (菊地)	ア-(セ)
5月17日	東京ビッグサイト (瀬川)	ア-(タ)～(テ)
5月20日	横浜市歴史博物館 (瀬川)	ア-(チ)
5月22日	記念艦三笠 (菊地)	ア-(セ)
5月24日	神奈川県立歴史博物館 (稲村)	ア-(ス)
5月27日	明治大学博物館 (稲村)	ア-(ス)
5月27日	若松町・大滝町 (瀬川)	ア-(ツ)
5月31日	三笠ビル (菊地)	ア-(セ)
5月31日	横須賀総合高校・横須賀製鉄所副首長官舎 (菊地)	ア-(セ)
5月31日	三浦市南下浦町松輪 (稲村)	ア-(シ)
5月31日～6月3日	岩手県宮古市, 北上市 (柴田)	ア-(イ)
6月2日	鎌倉市十二所 (内船)	ア-(オ)
6月5日	鎌倉歴史文化交流館 (稲村)	ア-(シ)
6月6日	神奈川県立歴史博物館 (稲村)	ア-(ス)
6月7日	横須賀市立豊島小学校 (菊地・萩原・内船・山本・瀬川)	ア-(ウ), (オ), (ク), (セ), (チ)

6月8日	神奈川県立歴史博物館 (瀬川)	ア-(チ)
6月9日	浦賀 (瀬川)	ア-(テ)
6月11日	館山市立博物館分館 (瀬川)	ア-(チ)
6月13日	三浦市南下浦町毘沙門 (稲村)	ア-(シ)
6月14日	立石 (瀬川)	ア-(チ)
6月20日	長谷観音ミュージアム (稲村)	ア-(シ)
6月20日	関東学院大学 (菊地)	ア-(セ)
6月29日	燈明堂 (柴田)	ア-(ア)
7月3日	神奈川大学 (瀬川)	ア-(チ)
7月6日	神奈川県立図書館 (瀬川)	ア-(チ)
7月8日	観音崎 (柴田)	ア-(ア)
7月11日	馬堀～走水 (柴田)	ア-(ア)
7月15日	佐島 (瀬川)	ア-(ツ)
7月18日	寒川町応神塚古墳 (稲村)	ア-(ス)
7月18日	逗子市 (菊地)	ア-(セ)
7月25日	横浜市浦島塚古墳 (稲村)	ア-(シ)
7月25日・26日	横須賀総合高校・横須賀製鉄所副首長官舎 (菊地)	ア-(セ)
7月27日	東京都葛飾区 (瀬川)	ア-(チ)
7月29日～8月1日	伊豆大島 (山本)	ア-(コ)
8月1日	第2海堡 (菊地)	ア-(セ)
8月1日	鎌倉歴史文化交流館 (稲村)	ア-(シ)
8月2日	三笠ビル (菊地)	ア-(セ)
8月3日	横須賀市西浦賀町個人宅 (菊地)	ア-(セ)
8月4日	東京都千代田区 (瀬川)	ア-(テ)
8月5日	関東学院大学 (菊地)	ア-(セ)

8月5日・6日	天神島(内船・山本)	ア-(オ)
8月8日	大矢部(瀬川)	ア-(チ)
8月11日	逗子市(菊地)	ア-(セ)
8月12日	ハイランド(瀬川)	ア-(ツ)
8月14日・15日	横須賀総合高校・横須賀製鉄所副首長官舎(菊地)	ア-(セ)
8月15日	国指定史跡永福寺跡(稲村)	ア-(ス)
8月15日	神奈川県立生命の星・地球博物館(柴田)	ア-(ア)
8月22日	横浜市港北区新羽町(稲村)	ア-(ス)
8月26日	厚木市愛甲大塚古墳(稲村)	ア-(ス)
8月29日	横浜市南区弘明寺町(稲村)	ア-(ス)
8月30日～31日	茨城県行方市(柴田)	ア-(イ)
8月31日	川崎市立中原図書館(瀬川)	ア-(チ)
9月1日	横須賀市湘南国際村(内船)	ア-(オ)
9月5日	横浜市技能文化会館(稲村)	ア-(ス)
9月6日	ペリー記念館(菊地)	ア-(セ)
9月7日	第二海堡(菊地・萩原・内船・山本・瀬川)	ア-(エ), (オ), (ク), (セ), (タ)
9月8日	横須賀市逸見地区(菊地)	ア-(セ)
9月9日	東京都奥多摩町(瀬川)	ア-(ツ)
9月12日	観音崎(柴田)	ア-(ア)
9月12日	馬堀自然教育園(内船)	ア-(オ)
9月13日	ペリー記念館(菊地)	ア-(セ)
9月14日	横浜市室ノ木古墳(稲村)	ア-(ス)
9月16日	横浜市歴史博物館(瀬川)	ア-(チ)
9月18日	伊勢原市(瀬川)	ア-(チ)
9月19日	横浜市瀬戸ヶ谷古墳(稲村)	ア-(ス)
9月26日	地盤工学会(菊地)	ア-(セ)
9月26日～10月10日	米国西部(カリフォルニア科学アカデミー, セントジョージ恐竜足見足跡産地博物館, モアブジャイアンツ博物館)(柴田)	ア-(イ)
9月29日	明治大学博物館(稲村)	ア-(ス)
10月11日	三浦市(瀬川)	ア-(チ)
10月12日	横須賀市日出町個人宅(菊地)	ア-(セ)
10月14日	太田和(瀬川)	ア-(ツ)
10月19日	鎌倉歴史文化交流館(稲村)	ア-(ス)
10月22日～26日	ICOFORT 国際会議参加・研究発表(彦根市)(菊地)	ア-(ソ)
10月24日	横須賀市野比(萩原・内船・山本)	ア-(サ)
10月25日	観音崎(柴田)	ア-(ア)
11月1日	東京国立博物館(稲村)	ア-(ス)
11月2日	観音崎(柴田)	ア-(ア)
11月7日	横浜市金沢区(瀬川)	ア-(ツ)
11月11日	佐島(瀬川)	ア-(ツ)
11月18日	小田原市(瀬川)	ア-(チ)
11月15日	横浜市歴史博物館(稲村)	ア-(ス)
11月27日	神奈川県立歴史博物館(稲村)	ア-(ス)

11月27日	成城大学民俗学研究所(瀬川)	ア-(チ)
11月29日～30日	野尻湖ナウマンゾウ博物館(柴田)	ア-(イ)
12月5日	鎌倉市玉縄城址(稲村)	ア-(ス)
12月6日	横須賀市中央公園(菊地)	ア-(セ)
12月9日	神奈川県立歴史博物館(瀬川)	ア-(チ)
12月14日	青梅市郷土博物館(瀬川)	ア-(チ)
12月19日	神奈川県立埋蔵文化財センター(稲村)	ア-(ス)
12月20日	明治大学博物館(稲村)	ア-(ス)
12月24日	大塚歳勝土遺跡(稲村)	ア-(シ)
31年1月7日	川崎市川崎区(瀬川)	ア-(テ)
31年1月12日	大磯町(瀬川)	ア-(テ)
31年1月16日	川崎市市民ミュージアム(稲村)	ア-(ス)
31年1月19日	神奈川県立歴史博物館(稲村)	ア-(ス)
31年1月25日	鎌倉市(瀬川)	ア-(テ)
31年1月30日	横浜市綱島古墳(稲村)	ア-(ス)
31年1月30日	馬堀自然教育園(菊地)	ア-(セ)
31年2月1日	横須賀市福祉会館・中央図書館ほか(菊地)	ア-(セ)
31年2月1日	湯河原町竹の花遺跡(稲村)	ア-(ス)
31年2月9日	横須賀市佐原(内船)	ア-(オ)
31年2月11日	佐島・横浜市金沢区(瀬川)	ア-(ツ)
31年2月13日	横浜ユーラシア文化館(稲村)	ア-(ス)
31年2月18日	東京都立多摩図書館・東京都新宿区(瀬川)	ア-(チ)
31年2月20日	朝比奈切通し(柴田)	ア-(ア)
31年2月23日	逗子市神武寺(内船)	ア-(オ)
31年2月27日	横浜市歴史博物館(稲村)	ア-(ス)
31年3月1日	日産自動車追浜工場(菊地)	ア-(セ)
31年3月2日	千葉県南房総市(瀬川)	ア-(ツ)
31年3月3日	三浦市三崎町(内船)	ア-(オ)
31年3月6日	鎌倉歴史文化交流館(稲村)	ア-(シ)
31年3月8日	葉山町一色(稲村)	ア-(シ)
31年3月14日	三浦市南下浦町松輪(稲村)	ア-(シ)
31年3月18日	山梨県立博物館(瀬川)	ア-(チ)
31年3月20日	三浦市三崎町小網代(稲村)	ア-(シ)
31年3月21日	東京都世田谷区(瀬川)	ア-(チ)
31年3月23日	横浜市港南区(内船)	ア-(オ)
31年3月23日	逗子市沼間(内船)	ア-(オ)
31年3月25日	佐島(瀬川)	ア-(ツ)
31年3月27日	箱根町(瀬川)	ア-(ツ)
31年3月27日	真鶴町平台古墳群(稲村)	ア-(ス)

※ 対応テーマは前項アを参照

(2) 研究発表・執筆

ア 口頭発表等（ポスター発表を含む）

発表者・論題	発表日	大会名称（開催地）	発表種別	参照・参考
内船俊樹：横須賀市自然・人文博物館の収蔵標本について	8月11日	三浦半島昆虫研究会8月例会（講座室）	口頭	ア-（オ）
藤岡換太郎・平田大二・高橋直樹・柴田健一郎・西川 徹：相模湾とその周辺の海底谷の成因－伊豆・小笠原弧の衝突テクトニクス－	8月25日	日本第四紀学会2018年大会（首都大学東京南大沢キャンパス）	口頭	ア-（ア）
宮澤喜大・峠 雄斗・柴田健一郎・伊藤 慎：三浦半島南帯中新統－鮮新統三崎層・初声層のトラクション構造の形成プロセス	9月6日	日本地質学会第125年学術大会（北海道大学）	ポスター	ア-（ア）
大木耀成・柴田健一郎・伊藤 慎：三浦半島新第三系三崎層の火山砕屑性インジェクタイトの形態的・岩相的特徴と形成過程	9月6日	日本地質学会第125年学術大会（北海道大学）	ポスター	ア-（ア）
内船俊樹：商店街イベント参画を軸とした「つなげる博物館」の取組み	9月30日	国際博物館会議（ICOM）舞鶴ミーティング2018（舞鶴市商工観光センター）	口頭	
菊地勝広：横須賀製鉄所（造船所）における技術移転と日本近代化への影響に関する研究－メトリック法や新技術の導入と耐震設計などの先駆的実践例をとおして－	10月25日	ICOFORT 国際会議2018 in 彦根（ひこね市文化プラザ）	口頭	ア-（ソ）
内船俊樹：横須賀市のスズメバチトラップ調査－9年間のまとめ－	12月1日	第39回菅平動物学セミナー（筑波大学）	口頭	ア-（キ）
稲村 繁：埴輪製作集団と埴輪窯－出張製作と遠距離供給－	12月8日	2018年度博古研究会（瀬戸市文化センター）	口頭	ア-（ス）
内船俊樹：理科でつながる子どもと大人－地域文化の核を目指す「みんなの理科フェスティバル」の取組み－	31年2月15日	第26回全国科学博物館協議会研究発表大会（豊橋市自然史博物館）	口頭	
小玉あすか・山本 薫・大西 亘・松尾 歩・陶山佳久・岩崎貴也：暖地性シダ植物マツバランの系統地理解析：特に神奈川県産個体の由来に着目して	31年3月7-8日	日本植物分類学会第18回大会（首都大学東京）	口頭	ア-（ケ）

イ 論文等執筆・講演要旨

著者・論題	掲載書誌・巻号・頁・発行月	参照・参考
内船俊樹：商店街イベントへの参画による「つながる地域博物館」の試み（特集 地域の身近な科学館・博物館）	金属, 88(7): 30-36. (7月)	
内船俊樹：商店街イベント参画を軸とした「つなげる博物館」の取組み	国際博物館会議（ICOM）舞鶴ミーティング2018講演要旨集, pp. 28-29. (9月) (英文要旨付)	
Nakajima R., Okamiya H., Shimokawa S., Yamamoto K., Kato H., Murakami N.: Comparison of floral traits and pollinator assemblages of insular and mainland varieties of <i>Lilium auratum</i>	Plant Species Biology, 33: 276-288. (October)	
Lockley M. G., Foster J. R., Gierlinski G. D. and Shibata K.: Upper Triassic tetrapod track assemblages from the Chinle Group, Moab area, Utah	New Mexico Museum of Natural History and Science Bulletin, (79): 417-427. (October)	ア-（イ）
Adhiperdana B. G., Hendarmawan, Shibata K. and Ito M.: Relationships between discharge parameters and cross-sectional channel dimensions of rivers in an active margin influenced by tropical climate	Catena, 171: 645-680. (December)	ア-（イ）
安池尋幸：文化未年在府代官家政と手附・手代等の日常活動－竹垣直清「掌記」を再読する－	横須賀市博研報（人文）, (63): 25-56. (12月)	ア-（ト）
瀬川 涉：語りのなかの横須賀－森 光司氏の語り6－	横須賀市博研報（人文）, (63): 57-64. (12月)	ア-（タ）
稲村 繁：神奈川県古墳（IX）－神奈川県古墳地名表（7）－	横須賀市博研報（人文）, (63): 1-24. (12月)	ア-（ス）
萩原清司・本村浩之：日本初記録のイトウダイ科魚類 <i>Sargocentron iota</i>	魚類学雑誌, J-stage 早期公開版: 5pp. (12月)	ア-（エ）
和田英敏・萩原清司・本村浩之：鹿児島県沖永良部島から得られた北限記録のヒラウミタケハゼおよび本種の生態学的新知見	Nature of Kagoshima, (45): 103-107. (12月)	ア-（エ）

Wipfler B., Letsch H., Frandsen P., Kapli P., Mayer C., Bartel D., Buckley T., Donath A., Ederly-Rooks J., Fujita M., Liu S., Machida R., Mashimo Y., Misof B., Niehuis O., Peters R., Petersen M., Podsiadlowski L., Schütte K., Shimizu S., Uchifune T., Wilbrandt J., Yan E., Zhou X. and Simon S.: Evolutionary history of Polyneoptera and its implications for our understanding of early winged insects	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 116(8): 3024-3029. (January)	ア - (カ)
内船俊樹:理科でつながる子どもと大人 -地域文化の核を目指す「みんなの理科フェスティバル」の取り組み-	第26回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, pp. 139-147. (2月)	
柴田健一郎・倉持卓司・鈴木 進:横須賀市観音崎に分布する鮮新統池子層の堆積環境とオトヒメハマグリ科化石	横須賀市博研報(自然), (66): 1-9. (31年3月)	ア - (ア)
内船俊樹・横須賀市保健所生活衛生課:2018年横須賀市におけるスズメバチ類のベイトトラップ調査	横須賀市博研報(自然), (66): 17-21. (31年3月)	ア - (キ)
山本 薫・鶴沢美穂子・内船俊樹:馬堀自然教育園のシダ類および蕨苔類	横須賀市博研報(自然), (66): 23-28. (3月)	ア - (ク)
萩原清司・斎藤和久・木村喜芳・横須賀市自然環境共生課:横須賀市平作川で採集されたダイミョウサギ	横須賀市博研報(自然), (66): 29-30. (31年3月)	ア - (エ)
内船俊樹・山本 薫:天神島臨海自然教育園の砂浜で夏季夜間に表出するハマダンゴムシの個体数変化	横須賀市博研報(自然), (66): 31-33. (31年3月)	

ウ その他執筆

著者・論題	掲載書誌・巻号・頁・発行月	参照・参考
山本 薫:植物の省エネ ロゼット(季節の生き物図鑑 第29回)	よこすか ECO 通信(横須賀市/環境教育・環境学習ネットワーク会議), 29: 4. (6月)	ア - (ク)
柴田健一郎:横須賀の海の成り立ち(横須賀と海 第1回)	まなびかんニュース(横須賀市/横須賀市生涯学習財団) 8月号: 8. (8月)	ア - (ア)
山本 薫:海辺に咲く横須賀の浜「ハマオモト」(横須賀と海 第3回)	まなびかんニュース(横須賀市/横須賀市生涯学習財団) 10月号: 8. (8月)	ア - (ク)
柴田健一郎:横須賀のナウマンゾウ(季節の自然図鑑 第30回)	よこすか ECO 通信(横須賀市/環境教育・環境学習ネットワーク会議), 30: 4. (9月)	ア - (ア)
内船俊樹:横須賀市でシジユキノカワガを採集	かまくらちょう, (94): 2. (10月)	ア - (オ)
萩原清司:魚の骨(季節の自然図鑑 第31回)	よこすか ECO 通信(横須賀市/環境教育・環境学習ネットワーク会議), 31: 4. (12月)	ア - (エ)
内船俊樹:自然教育園の魅力発信:展示・教育コンテンツの開発	全国科学博物館活動等助成事業(平成27年度~平成29年度)『博物館活動の活性化をめざして - 科学博物館活動等事例集 -』, 111-116. (12月)	
鈴木 進・青木厚美・浅見茂雄・石田利和・緒方芳樹・鎌田和宏・川瀬淑子・柴田健一郎・布施憲太郎:深海から生まれた三浦半島シリーズII大地が語る観音崎	発行:三浦半島活断層調査会(31年2月)(横須賀市市民協働推進補助金を受けて作成)	ア - (ア)
内船俊樹:横須賀市で樹液に飛来したチャイロスズメバチ	かまくらちょう, (95): 2-3. (31年2月)	ア - (オ)
内船俊樹・永嶋省吾:三浦市でウルシゴキブリを採集	かまくらちょう, (95): 3-4. (31年2月)	ア - (オ)
宮原宗久・内船俊樹:ヨソモンカメノコハムシを横須賀市で採集	かまくらちょう, (95): 5-6. (31年2月)	ア - (オ)
内船俊樹:マイ・ベスト昆虫写真2018各部門グランプリ作品	かまくらちょう, (95): 23-24. (31年2月)	ア - (オ)
内船俊樹:横須賀市で採集されたヒラタクワガタ	かまくらちょう, (95): 24. (31年2月)	ア - (オ)
内船俊樹:横須賀市でキマダラカメムシを採集	かまくらちょう, (95): 25-26. (31年2月)	ア - (オ)
内船俊樹:セナガアナバチがクログキブリ幼虫を曳行	かまくらちょう, (95): 27-28. (31年2月)	ア - (オ)
萩原清司・永嶋省吾・三浦半島渡り鳥連絡会:横須賀市自然・人文博物館鳥類資料目録II	横須賀市博資料集, (43): 40pp. (31年3月)	
山本 薫:春の海で海藻を探そう(横須賀と海 第6回)	まなびかんニュース(横須賀市/横須賀市生涯学習財団) 3月号: 8. (31年3月)	ア - (ク)
本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江正典(編):奄美群島の魚類図鑑	436pp. 南日本新聞開発センター, 鹿児島市. (31年3月)	
内船俊樹:知っておきたい博物館の話「博物館のまわり:ボランティアの活躍」の開催(特集 神奈川県博物館協会主催講演会 序文)	神奈川県博物館協会会報, (90): 1. (31年3月)	
内船俊樹:横須賀にやってくる昆虫たち(季節の自然図鑑 第32回)	よこすか ECO 通信(横須賀市/環境教育・環境学習ネットワーク会議), 32: 4. (31年3月)	ア - (オ)
内船俊樹:みんなの理科フェスティバル ~発表機会集約による交流と共有~	公益財団法人日産財団理科教育助成2019年成果報告書 - 2016年度助成 -, 25-28. (31年3月)	

(3) 学術研究団体・会議等協力

団体	役割	期間	担当
公益社団法人地盤工学会関東支部	歴史遺産に関する今後の地盤工学研究の方向性検討委員	年間	菊地
三浦半島活断層調査会	調査研究員, リーフレット作成委員	年間	柴田
日本節足動物発生学会	事務局・会計幹事・編集幹事	年間(事務局・会計幹事は6月まで)	内船
三浦半島昆虫研究会	編集委員・例会幹事ほか	年間	内船
横須賀植物会	顧問	年間	山本
日本植物分類学会	ニューズレター幹事	31年1月～3月	山本

《制作物（缶バッジ）》



ナウマンゾウ①



ナウマンゾウ②



博物館ロゴ等



駆逐艦「秋風」



アオウミウシ



天神島マスコットキャラ



ハマオモトとアオスジアゲハ



シロウミウシ



特別展示「オオスズメバチ」



スチームハンマー



弾琴埴輪男子像



オオシマザクラ

6 分類整理保存事業

(1) 資料の寄贈・借用

ア 寄贈資料

資料名称・点(件)数	受入日	寄贈者・機関	部門
御定書百箇条写本(上下) 1点	4月21日	嘉山 功	歴史
地質ボーリングコア 1件	5月4日	関口太郎	地球科学
ナショナル製アイロンほか	5月4日	関口太郎	民俗
茶葉入れほか	5月29日	飯田 兼	民俗
戦前戦後母子手帳等 39点	5月30日	穴戸弘章	歴史
旧海軍の兵隊が使用した木箱	8月1日	井手日出志	民俗
大矢部名主家 膳椀一式	8月8日	島崎シヅ	民俗
洗濯板	8月22日	中川 栄	民俗
旧陸軍関係辞令・位記等 35点	9月27日	田中伸佳	歴史
今長(今井酒店)関連資料一式	10月8日	今井克子	民俗
節供人形	10月16日	山崎年男	民俗
岩石鉱物(横須賀産、北海道産、中国産、ブラジル産)一式	10月17日	中澤仁史	地球科学
和船模型	10月20日	大簾 修	民俗
旧海軍関係辞令等 6点	10月26日	木村七敏	歴史
南極の石 3件	10月26日	原田由美子	地球科学
ダイヤル式テレビほか	12月8日	神戸淳子	民俗
市内寺院関係写真等 8点	12月17日	石川 誠	歴史
市内上町旧大久保家資料 55点	12月17日	大久保美彦	歴史
Mac LC-630ほか	12月21日	玉野有美	民俗
ピッチナガシ	12月27日	有限会社青木造船所	民俗
ピンクの電話	31年1月8日	髪結家 角田八重子	民俗
万延元年遣米使節関係資料 41点	31年1月18日	森田充	歴史

計 22 件

イ 借用資料

資料名称・点数・備考	借用期間	借用者・機関	部門
船筆筒(常設展示品として引き続き借用中) 1点	4月1日	幸保富雄	歴史
新見家伝来古文書 176点	4月1日～31年2月10日	新見正裕	歴史

計 2 件

(2) 登録資料

ア 自然科学資料

部門・分野	登録資料件数	(新規登録件数)
地球科学	5,625件	(77件)
古生物資料	2,675件	(68件)
岩石資料	840件	(7件)
鉱物資料	182件	(2件)
地質調査報告書	1,928件	(0件)
動物	95,297件	(537件)
昆虫資料	36,354件	(25件)
魚類資料	46,023件	(111件)
軟体動物資料	9,858件	(366件)
両生爬虫類資料	580件	(0件)
鳥類資料	944件	(0件)
甲殻類資料	1,070件	(0件)
哺乳類資料	408件	(0件)
植物	76,158件	(580件)
維管束植物	0件	(0件)
藻類	0件	(0件)
菌類	0件	(0件)
蘚苔類	0件	(0件)

イ 人文科学資料

部門・分野	登録資料件数	(新規登録件数)
考古	84件	(0件)
歴史	397件	(0件)
登録銃砲刀剣類	18件	(0件)
民俗	721件	(12件)

ウ 図書資料

部門	登録資料件数	(新規登録件数)
自然科学	97,391件	(1,004件)
人文科学	66,893件	(980件)

(3) 資料の利用

資料名 (代表ほか件数)	利用形態 (用途)	利用日/期間 (回数)	利用者 (所属) /団体	部門
化石資料	提供 (掲載: 日本古生物標本横断データベース)	年間	古生物標本ネットワーク構築研究グループ	地球科学
鳥類剥製資料	閲覧	年間	木鳥会	動物
田戸・三戸遺跡出土土器および関連資料	実見	4月10日・5月29日・6月12日・26日・7月31日・8月28日・11月28日・12月18日・31年1月22日・29日・2月26日・3月12日	武井則道	考古
ゲンジボタル・ハイケボタル画像	提供 (放映: アド街ツク天国「鎌倉」)	4月13日	ハウフルス (テレビ東京)	動物
吉井貝塚出土土器・石斧, 江戸坂貝塚出土石鏃, 旧国立病院裏山遺跡出土土器, 泉遺跡出土土器・石器, 米の台遺跡出土石斧, 鴨居上の台遺跡出土炭化米, 神明谷戸遺跡出土土器, 大塚古墳群出土遺物, 勝力崎洞穴遺跡出土人骨	館内利用	4月19日	横須賀市立大矢部小学校6年	考古
吉井貝塚出土土器・石斧, 江戸坂貝塚出土石鏃, 旧国立病院裏山遺跡出土土器, 泉遺跡出土土器, 米の台遺跡出土石斧, 鴨居上の台遺跡出土炭化米, 中馬堀遺跡出土土器, 神明谷戸遺跡出土土器, 大塚古墳群出土遺物, 勝力崎洞穴遺跡出土人骨	館内利用	5月2日	横須賀市立浦賀小学校6年	考古
資料	閲覧	5月4日	匿名	建築歴史
画像2点: 「湘南電気鉄道のガード」, 「戦前の三笠通り等の商店街の写真」	提供 (放映: 横須賀発映画スクアプロ〜映画で魅せるドブ板〜)	5月10日	J:COM	建築歴史
蓼原古墳出土円筒埴輪画像	再掲載	5月15日	株式会社ベネッセコーポレーション	考古

画像「ハイネ画 久里浜上陸図」	提供（放映：ザ! 鉄腕 DASH! 「開国をした際にワインも輸入されていた。そのワインにはコルクで栓がされていた」）	5月16日～18日	IVS テレビ制作株式会社（日本テレビ）	建築 歴史
吉井貝塚出土土器・石斧，江戸坂貝塚出土石鏃，旧国立病院裏山遺跡出土土器，泉遺跡出土土器，米の台遺跡出土石斧，鴨居上の台遺跡出土炭化米，神明谷戸遺跡出土土器，大塚古墳群出土遺物，勝力崎洞穴遺跡出土人骨	館内利用	5月17日	横須賀市立鶴久保小学校	考古
画像2点：「ペリー肖像写真」，「浦賀ドック貴重写真」	提供（放映：ちちんぷいぷい「駅メロものがたり（京急浦賀駅の駅メロ『ゴジラのテーマ』）	5月17日	毎日放送	建築 歴史
ヴェルニー肖像画像	提供（掲載『公益財団法人 天田財団 30年史』）	5月18日	YAMAGATA INTECH 株式会社	建築 歴史
吉井貝塚出土土器・石斧，江戸坂貝塚出土石鏃，旧国立病院裏山遺跡出土土器，泉遺跡出土土器，米の台遺跡出土石斧，鴨居上の台遺跡出土炭化米，中馬堀遺跡出土土器，神明谷戸遺跡出土土器，大塚古墳群出土遺物，勝力崎洞穴遺跡出土人骨	館内利用	5月22日	横須賀市立沢山小学校6年	考古
平瀬貝類コレクション	閲覧	5月27日	河辺訓受・矢野重文（日本貝類学会）	動物
画像「横須賀港一覧絵図」	提供（放映：遠江の偉人たち）	5月30日	株式会社シーピーエス（浜松ケーブルテレビ）	建築 歴史
吉井貝塚出土土器・石斧，江戸坂貝塚出土石鏃，旧国立病院裏山遺跡出土土器，泉遺跡出土土器，米の台遺跡出土石斧，鴨居上の台遺跡出土炭化米，中馬堀遺跡出土土器，神明谷戸遺跡出土土器，大塚古墳群出土遺物，山崎貝塚出土土器，勝力崎洞穴遺跡出土人骨	館内利用	6月1日	横須賀市立山崎小学校	考古
画像「横須賀港一覧絵図」	提供（広報）	6月11日	舞鶴市	建築 歴史
「広重画 山海見立相模 相模浦賀」など浦賀奉行所関係画像8点	提供（パネル展示「山崎ふれあいトンネル」）	6月29日	横須賀市役所文化振興課	建築 歴史
三浦按針像画像	提供（掲載：第5回 ANJIN サミット）	7月12日	横須賀市役所国際交流課	建築 歴史
三浦按針像画像	提供（掲載：広報よこすか）	7月12日	横須賀市役所広報課	建築 歴史
カブトムシ画像	提供（掲載：神奈川新聞「カブトムシを調べよう」）	7月18日	神奈川新聞	動物
ウミヘビ科の一種標本1点	貸出	7月25日	日比野友亮（北九州市立自然史・歴史博物館）	動物
画像「横須賀一覧図」，「ペリーの写真」	提供（放映：めざましテレビ YOKOSUKA 軍港めぐり）	7月26日	フジテレビ	建築 歴史
平瀬貝類コレクション	閲覧	8月2日	石井康人・白井亮久（武蔵高校）	動物
画像「ハイネ画 久里浜上陸の図」	提供（放映：歴史科学捜査班「西郷隆盛はどんな顔をしていたのか？」）	8月8日	株式会社スマド（BS11）	建築 歴史
画像「ハイネ画 久里浜上陸の図」	提供（放映：パカリズムの30分ワンカット紀行）	8月24日	株式会社ビー・プレーン（BS ジャパン）	建築 歴史
画像「ペリー肖像画」	提供（掲載：朝日新聞三重版「つれづれ経済散歩」）	9月6日	自著	建築 歴史
平坂東貝塚出土土器・骨角器・同画像，吉井貝塚出土土器・骨角器・同画像	展示用貸出	9月21日	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場	考古
岩戸満願寺跡出土瓦	実見	9月23日・24日・12月22日	池谷初穂ほか	考古
『写真帖 横須賀名所』	利用（撮影・掲載：ヨコソー110周年誌 [動画・冊子]）	10月10日	株式会社ヨコソー	建築 歴史
「広重画 山海見立相模 相模浦賀」など画像4点	提供（パネル展示：横須賀市役所1階展示コーナー）	10月14日	横須賀市役所文化振興課	建築 歴史
地質調査報告書	貸出	10月23日	横須賀市健康部地域医療推進課	地球 科学

蓼原古墳出土埴輪・同弾琴男子椅座像埴輪画像, 八幡神社遺跡群出土埴輪, 小荷谷遺跡出土井戸杵・有頭石錘・環状土錘・滑石製模造品, 鴨居上ノ台遺跡出土鈎形鉄製品・環状土錘・滑石製模造品, 乗越遺跡出土瓦・須恵器	展示用貸出	10月26日	神奈川県教育委員会文化遺産課	考古
大津古墳・大塚古墳・向井将監夫妻墓各解説パネル	貸出	10月30日	大津行政センター	考古
蓼原古墳出土円筒埴輪画像	再掲載	11月2日	株式会社ベネッセコーポレーション	考古
横須賀製鉄所資料	利用(放映: Japanology Plus [ジャパノロジー・プラス])	11月21日	NHK エデュケーション (NHK World)	建築歴史
野島貝塚出土土器画像	掲載	12月11日	(公財) 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	考古
蓼原古墳出土弾琴男子椅座像埴輪画像	掲載	12月28日	久里浜の文化を考える会	考古
氷冷蔵庫、肥桶、行灯、おひつ、おひつ入れ、ミノ、ミノガサ、台秤、棒秤、蓄音機、黒電話、箱電話、炭火アイロン、火のし、洗濯板、たらい、わらじ、草履、石板、口ウ石、ダイヤル式テレビ、炭火炬燵、水桶、天秤棒、昔の教科書	館内利用(授業: 3年生「昔の道具とくらし」)	4-(6)-イ-(エ)参照	4-(6)-イ-(エ)参照	民俗
炭火アイロン、火のし、洗濯板、たらい、おひつ、おひつ入れ、黒電話、炭火炬燵	貸出(授業)	31年1月16日～2月13日	横須賀市立森崎小学校	民俗
画像2点「新書受渡の図」, 「ペリー立像」	提供(放映: 歴史科学捜査班)	31年1月22日	株式会社ガッツエンターテイメント(BS11)	建築歴史
横須賀製鉄所写真	提供(掲載: 原田 伊織『消された「徳川近代」明治日本の欺瞞』31年2月20日発行)	31年1月23日	株式会社ジェイ・プロジェクト(小学館)	建築歴史
横須賀製鉄所写真	提供(放映: 歴史秘話ヒストリア)	31年1月25日	NHK	建築歴史
横須賀製鉄所写真	利用(撮影・放映: ヘダ号の軌跡)	31年2月1日	株式会社大野オフィス(NHKワールド)	建築歴史
ペリー来航時の絵巻物	提供(放映: 新説! 所 JAPAN)	31年2月3日	株式会社メディアブルポ	建築歴史
称名寺貝塚・薬王寺貝塚出土資料	実見	31年2月6日・3月28日・29日	千葉 毅(神奈川県立歴史博物館)	考古
炭火アイロン、火のし、おひつ、おひつ入れ、黒電話、わらじ、草履、モンペ、昔の教科書	貸出(授業)	31年2月7日～2月22日	横須賀市立小原台小学校	民俗
蓼原古墳出土弾琴男子椅座像埴輪画像	放映	31年2月10日	株式会社ティーヴィボックス	考古
炭火アイロン、火のし、おひつ、おひつ入れ、黒電話、ミノ、ミノガサ、昔の教科書	貸出(授業)	31年2月10日～2月26日	横須賀市立大塚台小学校	民俗
なたぎり遺跡出土土器	実見	31年2月11日	田口一郎	考古
炭火アイロン、火のし、洗濯板、たらい、おひつ、おひつ入れ、黒電話、炭火炬燵	貸出(授業)	31年2月13日～3月14日	横須賀市立大矢部小学校	民俗
ペリー関係資料	提供(放映: 料理はじまり帖 [31年3月2日])	31年2月13日	VIVIA (BS日テレ)	建築歴史
ペリー関係資料	提供(放映: 歴史科学調査班「坂本龍馬 暗殺の謎」)	31年2月14日	株式会社スマド(BS11)	建築歴史
横須賀製鉄所の写真, 横須賀製鉄所に関する資料	提供(掲載: 広報誌『Value One』)	31年2月14日	株式会社メタルワン	建築歴史
通信学校教科書4点	貸出	31年2月14日～20日	YRP 横須賀テレコムリサーチ	建築歴史
ペリー関係資料	提供(放映: 歴史科学捜査班「桜田門外の変」)	31年2月15日	株式会社ガッツエンターテイメント(BS11)	建築歴史
茅山貝塚出土土器・マガキ・貝塚遠景画像	掲載	31年2月15日	佐原町内会	考古
蓼原古墳出土弾琴男子椅座像埴輪画像	掲載	31年3月15日	株式会社ティーヴィボックス	考古
ペリー肖像画	提供(掲載: 文科省認定教科書『新版 新しい歴史教科書』)	31年2月20日	株式会社自由社(文科省認定教科書)	建築歴史

ペリー関係資料	提供（掲載：『朝日ジュニア学習年鑑 2019』）	31年2月20日	朝日新聞出版	建築 歴史
ペリー関係資料の雑誌エプタの「江戸湾特集」への掲載	提供（掲載：雑誌エプタ「江戸湾特集」）	31年2月21日	株式会社フィフィス・ディメンション	建築 歴史
ハゼ類標本	貸出	31年2月28日	須之部友基（東京海洋大学水圏フィールド研究センター）	動物
三浦按針像	提供（掲載：「三浦按針祭観桜会」パンフレット）	31年3月14日	横須賀市役所国際交流課	建築 歴史
資料	提供（放映：「噂の!東京マガジン」）	31年3月15日	TBS	建築 歴史
アラレキリオレ標本2点	貸出	31年3月15日	長谷川和範（国立科学博物館）	動物
カワウソ標本1点	閲覧	31年3月15日	稲葉正和（愛媛県立博物館）	動物
クロナイトゲメギス標本1点	貸出	31年3月24日	吉田朋弘（西海区水産研究所）	動物
天皇陛下ゆかりのハゼ類画像6点	貸出（掲載）	31年3月28日	吉田昌史（読売新聞社）	動物
歌川広重画「山海見立相撲 相模浦賀」	提供（掲載：『歴史 REAL 大江戸くらし図鑑』）	31年3月31日	株式会社エディキューブ	建築 歴史
米国々書受領之図	提供（放映：「歴史科学捜査班」）	31年3月31日	株式会社スマド（BS11）	建築 歴史

計71件

(4) 資料の保守・保存環境保全

ア 文化財害虫と空中浮遊菌類の燻蒸及び調査

(ア) 燻蒸消毒

文化財収蔵庫において殺菌・殺虫効果のある燻蒸剤「アルプ」を使用した燻蒸をおこなった。第3資料室・調査研究室・大型資料室・第1民俗資料室においてピレスロイド系殺虫剤の空中噴霧による燻蒸を行った。さらに調査研究室では「アルプ」、人文工作室では「炭酸ガス」による被覆くん蒸を行った。いずれも効果判定材料である供試虫の致死率100%が認められた。6月23日～6月29日・7月17日～31日。

担当：瀬川・山本

(イ) 調査

文化財収蔵庫・第3資料室・調査研究室・大型資料室・第1、第2民俗資料室・第1、第2歴史資料室・人文資料室・恒温恒湿室・資料整理室・考古資料室・視聴覚資料室・自然研究室・図書室・特別展示室・特別展示準備室・人文館展示室・自然館展示室において、インセクトトラップ・フェロモントラップを設置し、歩行性昆虫類やタバコシバンムシなどの文化財害虫の生息状況を調査した。各所でチャタテムシ類が捕獲され、一部では歩行性昆虫類も捕獲された。シバンムシ類の捕獲はほぼなかった。捕獲数が多い個所には、樹脂蒸散性防殺虫剤を設置した。6月27日～7月31日。

担当：瀬川・山本

イ 国指定重要文化財スチームハンマーの保存環境測定・定期保守点検

ヴェルニー記念館で保存・管理する国指定重要文化財



6-(4)-ア-(ア) 燻蒸消毒 (文化財収蔵庫)

スチームハンマー2基(旧横須賀製鉄所設置, 1865年オランダ製: ①0.5トン片持ち形・②3トン門型)のについて, 保存環境測定と定期保守点検を行った。

(ア) 保存環境測定

スチームハンマーの保存に影響する因子の特定及び今後の維持管理方法の検討データの収集のため, 空気環境データを年2回(8月16日・31年2月14日)測定した。

担当：菊地

測定場所

ヴェルニー記念館(東逸見町1-1)の室内外の計2地点。

測定項目および方法

①濾過捕集による「浮遊粒子状物質(SPM)」の重量濃度測定, ②ザノレツマン吸光光度法による「二酸化窒素」の濃度測定, ③濾過捕集による「粒子状酸性成分」濃度のイオンクロマト分析の3項目で, ①, ②は日中時間内の1時間値を1回, ③は日中時間内の6時間値を1回測定した。

測定結果

測定結果は「表 平成30年度測定結果一覧」のとおり。アルデヒドにおける不検出値は、「ホルムアルデヒド8ppb以下, アセトアルデヒド5ppb以下」で, 粒子状酸性成分における不検出値は、「塩化物イオン0.069 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下, その他0.17 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下」とした。気象条件等も併せて記録した。

表 平成30年度測定結果一覧

調査項目	測定日・場所		31年2月14日	
	8月16日	8月16日	室内	屋外
天候	-	晴	-	曇
気温(°C)	28.0	30.0	16.0	6.1
湿度(%)	62.0	75.0	42.0	31.0
風向	-	西	-	北
風速(m/s)	-	0.8-1.8	-	1.5-3.1
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.005	0.003	0.005
ホルムアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出
アセトアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出
酸性成分	塩化物イオン($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	不検出	8.9	不検出
	亜硝酸イオン($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	不検出	不検出	不検出
成分	硝酸イオン($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.98	5.7	0.66
	硫酸イオン($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	2.2	9.0	5.4

(イ) 定期保守点検

スチームハンマー2基の保存処理と保存状態の点検を, 10月9日に行った。

担当：菊地・鈴木

《リーフレット》



馬堀自然教育園リーフレット (改訂)

天神島臨海自然教育園リーフレット (改訂)



2019年度年間行事リーフレット

7 管理事業

(1) 施設利用

ア 団体による見学等利用

(ア) 学校教育関係

日付	学校・学年等	施設
4月19日	横須賀市立大矢部小学校	本館
4月24日	横須賀市立馬堀小学校	馬堀
4月26日	横須賀市立森崎小学校	本館
4月29日	東京都立上野高等学校	天神島
4月29日	東京都立日比谷高等学校	天神島
4月30日	恵泉女学園中学・高等学校	天神島
5月2日	横須賀市立浦賀小学校	本館
5月2日	横須賀市立野比東小学校	ヴェルニー
5月9日	慶應義塾志木高等学校	天神島
5月16日	東京農業大学農学部バイオセラピー学科	天神島
5月17日	横須賀市立鶴久保小学校	本館
5月22日	横須賀市立沢山小学校	本館
5月25日	神奈川県立横須賀高等学校(定時制)第1学年	本館
5月26日・6月23日	神奈川大学 博物館資料保存論	本館・天神島
5月30日・5月31日	慶應義塾横浜初等部3年	本館・天神島
5月30日・7月13日	学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校	天神島
5月31日	田園調布雙葉小学校	本館
6月1日	横須賀市立山崎小学校	本館
6月5日	横須賀市立公郷中学校	ヴェルニー・馬堀
6月6日	横須賀市立明浜小学校	本館
6月7日	国士舘大学	ヴェルニー
6月10日	海城中学校	本館
6月12日	横須賀市立走水小学校	馬堀
6月12日・6月20日・6月22日・6月26日	横須賀市立馬堀小学校	馬堀
6月17日	神奈川県立生田高等学校	天神島
6月30日	鶴見大学	ヴェルニー
7月4日・9月13日・9月14日・9月21日・9月28日・12月6日	横須賀市立大楠小学校	天神島
7月19日	聖徳学園中学校理科部	天神島
7月31日	横須賀市立大楠小学校教員	天神島
8月1日	女子学院中学校・高等学校生物部	天神島
8月2日	武蔵高等学校	本館
8月23日	富岡市立富岡中学校	ヴェルニー
9月5日	横浜市立万騎が原小学校	天神島
10月5日	三浦市立名向小学校	本館
10月10日	三浦市立岬陽小学校3年	本館
10月10日	横浜市立釜利谷東小学校	本館
10月11日	新潟北高等学校	ヴェルニー
10月16日	鎌倉市立関谷小学校	本館
10月19日	フェリス女学院中学校	本館
10月19日	横須賀市立大塚台小学校	天神島
10月24日	横須賀市立養護学校	本館
10月26日	横須賀市立浦賀小学校	本館
10月26日	横須賀市立野比小学校3年	本館

11月4日	神奈川大学	本館
11月4日	日本大学生物資源科学部	本館・天神島
11月7日	横須賀市立馬堀小学校	天神島
11月8日	横須賀市立馬堀中学校	馬堀
11月10日	神奈川大学 博物館教育論	本館
11月16日	三浦市立三崎小学校	本館
11月17日	文教大学	ヴェルニー
11月27日	横須賀市立大津中学校	ヴェルニー
11月30日	横須賀市立鶴久保小学校	本館
11月30日	横須賀市立久里浜小学校	本館
12月8日	帝京平成大学学芸員課程	本館・馬堀
12月22日	関東学院大学	ヴェルニー
31年1月16日	横須賀市立浦賀小学校3年	本館
31年1月18日	横須賀市立馬堀小学校	本館
31年1月22日	横須賀市立望洋小学校3年	本館
31年1月22日	横須賀市立豊島小学校3年	本館
31年1月23日	横浜市立小雀小学校	本館
31年1月24日	横須賀市立大津小学校3年	本館
31年1月29日	横須賀市立根岸小学校3年	本館
31年1月31日	横須賀市立諏訪小学校3年	本館
31年1月31日	横須賀市立鶴久保小学校3年	本館
31年1月31日	横須賀市立長浦小学校	本館
31年2月1日	横須賀市立夏島小学校3年	本館
31年2月1日	横須賀市立長浦小学校3年	本館
31年2月5日	横須賀市立浦郷小学校3年	本館
31年2月5日	横浜薬科大学	本館
31年2月6日	横須賀市立大塚台小学校3年	本館
31年2月6日	横須賀市立粟田小学校3年	本館
31年2月7日	横須賀市立桜小学校	本館
31年2月7日	横須賀市立明浜小学校3年	本館
31年2月8日	横須賀市立公郷小学校3年	本館
31年2月8日	横須賀市立鷹取小学校3年	本館
31年2月13日	横須賀市立山崎小学校3年	本館
31年2月14日	横須賀市立小原台小学校3年	本館
31年2月14日	三浦市立南下浦小学校3年	本館
31年2月15日	横須賀市立津久井小学校3年	本館
31年2月19日	横須賀市立追浜小学校3年	本館
31年2月19日	私立横須賀学院小学校3年	本館
31年2月20日	横須賀市立船越小学校3年	本館
31年2月20日	横須賀市立桜小学校3年	本館
31年2月21日	横須賀市立沢山小学校3年	本館
31年2月22日	横須賀市立田浦小学校3年	本館
31年2月26日	横須賀市立鴨居小学校3年	本館
31年2月26日	三浦市立上宮田小学校3年	本館
31年2月28日	横須賀市立野比東小学校3年	本館
31年3月1日	横須賀市立武山小学校3年	本館
31年3月5日	横須賀市立神明小学校3年	本館
31年3月6日	横須賀市立走水小学校3年	本館
31年3月7日	横須賀市立田戸小学校3年	本館
31年3月7日	横須賀市立馬堀小学校3年	本館
31年3月7日	横須賀市立逸見小学校	本館
31年3月8日	横須賀市立衣笠小学校3年	本館
31年3月8日	横須賀市立汐入小学校	本館

計 107 件

※ 馬堀：馬堀自然教育園，天神島：天神島臨海自然教育園，
ヴェルニー：ヴェルニー記念館

(イ) 学校教育以外

日付	団体名	施設
年間	好古会	本館
年間	相模湾海洋生物研究会	本館
年間	三浦半島活断層調査会	本館
年間	三浦半島昆虫研究会	本館
年間	横須賀植物会	本館
年間	神奈川県植物誌調査会	本館
4月1日・ 8月19日・ 31年2月17日	広尾地学研究会	本館
4月11日	Tokyo Walk	馬堀
4月19日	シニアネット横須賀	馬堀
5月12日	理窓会(理科大同総会)	本館
5月12日	レトロ何でも探偵団	馬堀
5月16日・ 6月1日・ 6月7日・ 6月8日・ 7月3日	浦賀っ子かえるクラブ	本館・ 馬堀
5月17日	円中自治会	本館
5月20日	追浜ボイスカウト	馬堀
5月27日	神奈川地学会	本館
6月2日	キッズアース	天神島
6月15日	産業技術史学会	本館
6月16日	産業技術史学会	ヴェルニー
6月16日	ハートリンク放課後等デイサービス 富岡東	本館
6月19日	横須賀市大津コミュニティセン ター	本館
6月20日	横浜市立南本宿小学校	本館
6月22日	アクティブプレイス虹	本館
6月23日	横浜共立学園生物部OG会	本館
6月23日・ 7月1日	ムラカミスポーツクラブ	天神島
6月26日	遊びの森てくてく	天神島
6月30日	横浜自然学園	天神島
7月6日	横須賀市渉外部国際交流課	ヴェルニー
7月10日	木更津市立畑沢公民館	本館
7月10日	県立歴史博物館ボランティアガイ ド	本館
7月10日	国際交流課・プレスト市一行	本館
7月11日	全国森林インストラクター神奈川 会	天神島
7月12日	朝日カルチャーセンター	天神島
7月15日	夏潮会	天神島
7月16日	鎌倉みどりの会	天神島
7月21日	横須賀“住”魅力発信プロジェク ト実行委員会	天神島
7月28日	スタジオみらい	天神島
8月3日	海のみらい静岡友の会	本館
8月7日	横須賀シティガイド協会	本館
8月10日	相模民俗学会	本館
8月10日・ 10月23日	横須賀市教育研究所	天神島・ 本館

8月18日	地球環境戦略研究機関 国際生態 学センター	天神島
8月21日	新宿区立教育センター	本館
8月22日	柴笑山歩クラブ	馬堀
8月23日	常盤台中部子供会	本館
9月17日	2012 緑の会	天神島
9月22日	ハートリンク磯子	本館
9月26日	綾瀬市早園地区民生委員児童委 員協議会	本館
9月28日	日仏会館会員一行	ヴェルニー
10月2日	みなみが丘友議俱樂部	本館
10月2日	本所交通安全協会女性部研修会	本館
10月3日	横須賀市立津久井保育園	本館
10月4日	ベネッセスタイルケアベネッセ汐 入保育園	本館
10月5日	埼玉県地質調査業協会	本館
10月19日	横須賀市立追浜保育園	本館
10月26日	秩父市文化財保護審議委員会	本館
10月28日	奥沢交和会	本館
11月9日	横須賀市立鴨居保育園	本館
11月9日	横須賀幼稚園	本館
11月11日	イオン久里浜店チアーズ	本館
11月11日	麻布科学実験教室	本館
11月22日	そらまめのねっこ	天神島
11月23日	佐島観光親善大使とその仲間たち	天神島
11月28日	横須賀市立鶴が丘保育園	本館
11月30日	足柄上郡社会教育委員連絡協議 会	本館
12月6日	パンダ保育園	本館
12月6日	横須賀市立船越保育園	本館
12月12日	神奈川県私学理科専門委員会	本館
12月13日	横須賀市長、横須賀市議会議員 一行	本館
31年1月11日	NHK エデュケーショナル	天神島
31年1月18日	横須賀市立田浦保育園	本館
31年1月27日	荻田南幼稚園 ばばの会	天神島
31年2月1日・ 2月15日	よこすかシティガイド協会	馬堀
31年2月6日	ぎんなん幼稚園	本館
31年2月6日	三浦半島文化財担当者会	本館
31年2月9日	湘南地球科学の会	本館
31年2月10日	神奈川県横須賀歩け歩け協会	本館
31年2月20日・ 2月21日	久里浜幼稚園	本館
31年2月5日	逗子市立湘南保育園	本館
31年3月29日・ 3月30日	全力カンパニー	天神島

ヴェルニー ほかに142件

計231件

※ 馬堀：馬堀自然教育園，天神島：天神島臨海自然教育園，
ヴェルニー：ヴェルニー記念館

(2) 入館者統計

月	本館	馬堀	天神	ヴェルニー	全体
4	5,473	305	7,147	8,602	21,527
5	4,544	286	8,760	15,136	28,726
6	4,326	509	5,746	9,416	19,997
7	4,725	140	6,023	5,800	16,688
8	6,143	135	8,016	13,001	27,295
9	4,940	147	4,554	9,853	19,494
10	4,766	172	5,109	8,821	18,868
11	4,880	195	3,856	7,074	16,005
12	5,506	116	1,780	5,266	12,668
1	5,379	132	3,315	5,054	13,880
2	5,133	164	2,449	5,268	13,014
3	5,677	169	4,295	7,813	17,954
計	61,492	2,470	61,050	101,104	226,116

※ 馬堀：馬堀自然教育園，天神：天神島臨海自然教育園
(ビジターセンター含む)，ヴェルニー：ヴェルニー記念館

(3) 人事

- 4月1日 転入 係長 金満嘉政(横須賀総合高校から)
 4月1日 着任 天神島臨海自然教育園・非常勤職員
 小長谷美沙
 31年2月20日 着任 植物学担当・非常勤職員 等々
 力政彦
 31年3月31日 転出 館長 阪元美幸(市民部田浦
 行政センターへ)
 31年3月31日 転出 課長 永嶋省吾(市民部消費
 生活センターへ)
 31年3月31日 転出 主任 梅澤保行(こども育成
 部青少年会館へ)
 31年3月31日 転出 主任 坪井静子(教育総務部
 中央図書館へ)
 31年3月31日 退職 文献史学担当・再任用 安池
 尋幸

(4) 予算

平成30年度(給与費を除く)

費目	予算額(千円)
資料収集調査研究費	8,871
資料分類整理保存費	8,210
展示教育普及費	12,866
営繕工事費	113,331
博物館本館費	57,219
自然教育園費	22,064
ヴェルニー記念館費	9,408
計	231,969

※ 自然教育園費はビジターセンター費を含む

(5) 営繕工事

ア 自然・人文博物館外壁改修その他工事

自然博物館の外壁及び建具は、経年劣化による腐食が著しいため、改修工事を実施した。(担当：梅澤)

イ 天神島ビジターセンター屋上防水改修工事

天神島ビジターセンターの屋上は、経年劣化による腐食が著しいため、改修工事を実施した。(担当：梅澤)

(6) 消防訓練・避難訓練

ア 本館

1月26日の文化財防火デーにあわせ、平成31年1月30日に横須賀市中央消防署と共催で消防訓練をおこなった。(担当：梅澤)

イ 天神島臨海自然教育園

31年2月27日に東南海地震による津波の発生を想定した避難訓練を実施した。(担当：喜多村)



7-(6)-ア 消防訓練(本館)



7-(6)-イ 避難訓練(天神島)

(7) ホームページ・メールマガジン

ア ホームページ

博物館ホームページを26回更新した。(担当：柴田)

イ メールマガジン

メールマガジンを11回配信した。メールマガジンの登録数446人、配信数338人(31年3月31日)。各メールマガジンには「学芸員自然と歴史のたより」を掲載した。タイトルと執筆者は以下のとおり。(担当：柴田)

号	タイトル	執筆者
4月30日号	野比海岸の断層ガウジ	柴田
5月30日号	今年は相模湾の沿岸でアユが急増!?	萩原
6月30日号	古代、文字の読み書きはエリートの証?	稲村
8月3日号	身近な植物の図鑑をつくってみよう	山本
9月4日号	東京湾にある3つの海堡(かいほ)	菊地
9月24日号	「基本昆虫種」から身近な昆虫を調べよう!	内船
10月30日号	イカした色ですが、なにか?	瀬川
11月28日号	電信線を最初に描いた日本人	安池
12月27日号	JAMSTEC無人探査船による相模湾の深海調査	柴田
31年2月1日号	鮫(このしろ)	萩原
31年2月27日号	茶色の土器と灰色の土器、何が違う?	稲村

(8) 講習会等の参加

(ア) 神奈川県博物館協会平成30年度総会・第1回研修会, 5月18日, 神奈川県立歴史博物館。(参加：瀬川・内船)

(イ) 神奈川県博物館協会平成30年度第2回研修会, 7月11日, 馬の博物館。(参加：瀬川・内船)

(ウ) 神奈川県博物館協会平成30年度第3回研修会, 10月5日, 大庭城址公園・藤沢市藤澤浮世絵館・藤沢市アートスペース。(参加：瀬川)

(エ) 神奈川県博物館協会平成30年度第5回研修会, 31年3月24日, 県立金沢文庫。(参加：瀬川・内船)

(オ) 日本博物館協会全国博物館大会, 11月28日～11月30日, 東京文化会館ほか。(参加：瀬川)

職員名簿（平成 30 年度）

館長 阪元 美幸
運営課長 永嶋 省吾

（管理運営係）

係長 金満 嘉政
主任 梅澤 保行
主任 横山 靖志
主任 坪井 静子

（自然部門）

学芸員・主査 萩原 清司（海洋生物学）

学芸員・主任 柴田 健一郎（地球科学）

学芸員・主任 内船 俊樹（昆虫学）

学芸員 山本 薫（植物学）

学芸員・非常勤 等々力 政彦（植物学）

（天神島臨海自然教育園）

非常勤職員 喜多村美緒子

非常勤職員 小長谷美沙

（人文部門）

学芸員・主査 菊地 勝広（建築史学）

学芸員 瀬川 涉（民俗学）

学芸員・再任用 安池 尋幸（文献史学）

学芸員・再任用 稲村 繁（考古学）

博物館研究員

中村 進一（昆虫学・日本鱗翅学会）

丸山 厚吉（植物学・首都大学東京）

安室 知（民俗学・神奈川大学）

鈴木 稔（機械工学・サースエンジニアリング）

《表紙写真解説》

オオスズメバチ女王の頭部大型模型

平成最後の特別展示となった「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」では、オオスズメバチの女王をモデルにした約 100 倍スケールの頭部模型を展示した。会期終了後、模型は自然館 2 階の踊り場へ移設した（本誌 23 ページ参照）。この場所は天井が高くなっており、模型も防災保安上だいぶ上部に設置することとなったが、口器を構成する付属肢まで作りこんだ模型は迫力十分である。今後、来館記念の撮影場所としての活躍が期待される。

（内船 俊樹）

編集担当：内船俊樹

横須賀市博物館報 第 66 号

2019 年 9 月 30 日 発行

編集・発行 横須賀市自然・人文博物館

〒 238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95

電話 046-824-3688 Fax. 046-824-3658

e-mail m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

